

第3次熊本市環境総合計画 重点協働プロジェクト
に関する市民アンケート調査報告書

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

平成26年11月

＜熊本市＞

1. 調査概要	1
---------	---

2. アンケート調査結果	2
--------------	---

(1) 回答者の内訳	2
------------	---

(2) 調査結果	3
----------	---

■ 「ひとづくり」プロジェクトについて

1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。	3
2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	5
2-1. 問2で「参加した」と回答した場合、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	7
2-2. 問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。	10
2-3. 問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。	13
3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	15
4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。	18
5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。	20

■ 「まちづくりプロジェクト」について

6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	23
7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	25
7-1. 問7で「参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。	27
7-2. 問7で「参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。	29
7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	32
7-4. 「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。	34
7-5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。	37

8. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。	・・・40
9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。	・・・43
10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。	・・・46
11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。	・・・48
■「カーボン・オフセット」について	
12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。	・・・51
■「生物多様性」について	
13. 「生物多様性」について知っていますか。	・・・53
3. 調査結果総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
4. 参考資料（調査票） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	60

1. 調査概要

■調査目的

平成23年3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取り組み状況や、それに対するニーズなどを調査し、重点協働プロジェクトの進捗状況の把握及び、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

■調査対象

市民：3,000人（住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出）

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布・回収

■調査期間

平成25年9月～11月

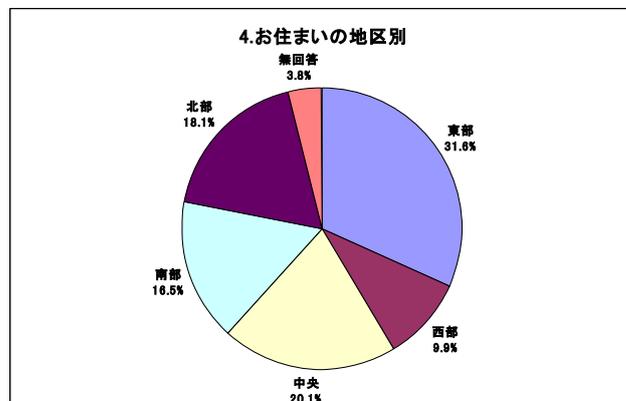
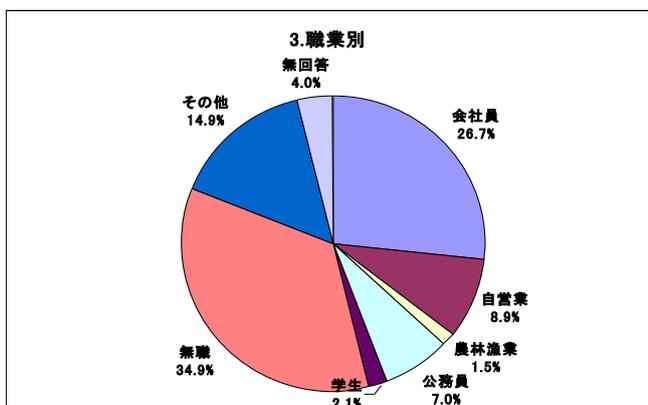
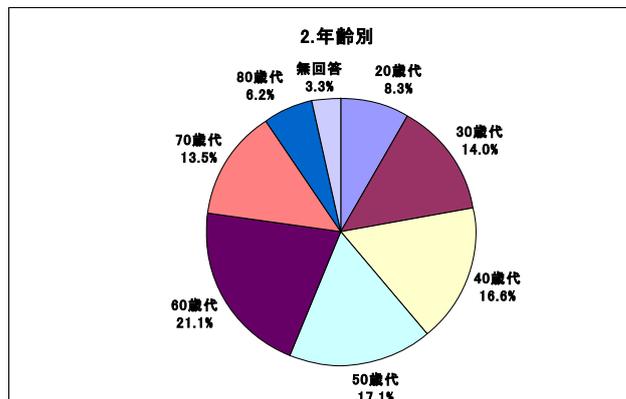
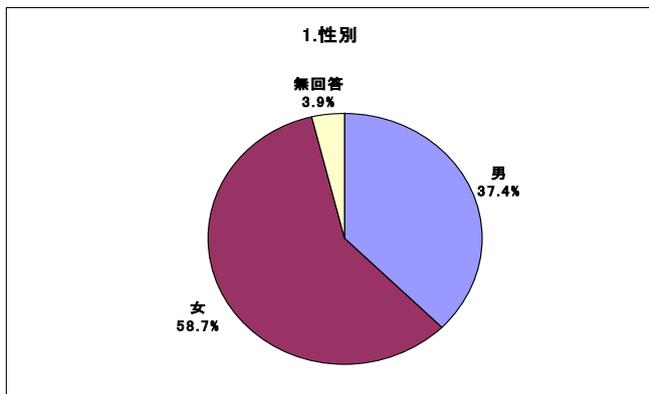
■有効回収数（有効回収率）

1,152人（38.4%）

※回答結果を分析するに当たって、属性別で回答総数が10未満のものは除外した。

2. アンケート調査結果(平成25年度)

(1)回答者の内訳



回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内、
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

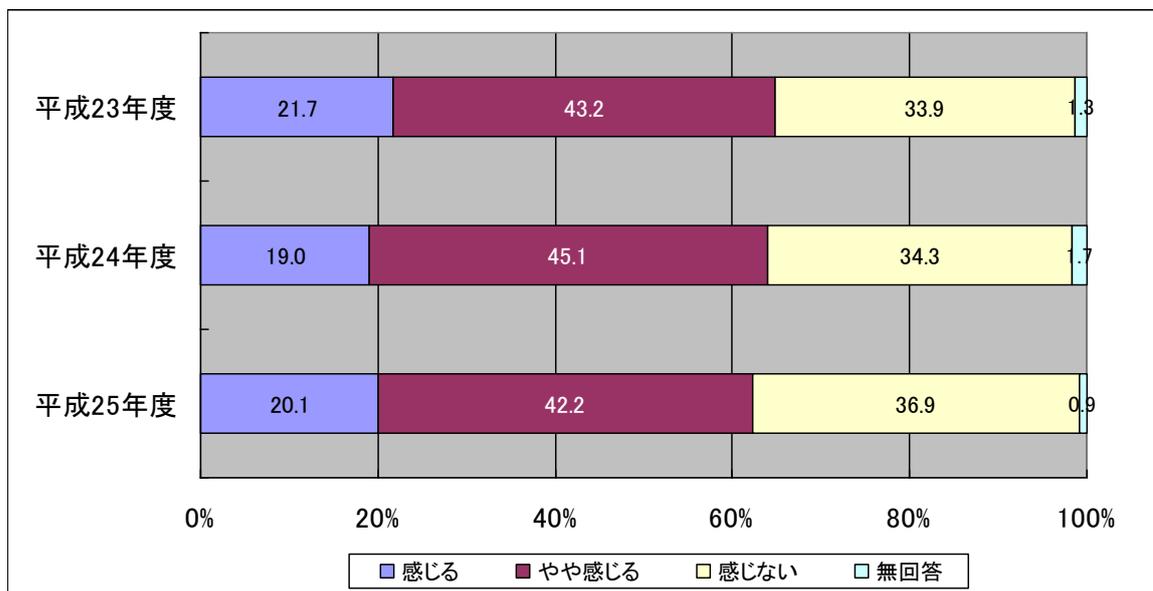
(2) 調査結果

問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

問1. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

【全体結果】

- ・「やや感じる」の割合が、42.2%と最も高く、次いで「感じない」が 36.9%、「感じる」が 20.1%となっている。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は 62.3%で、前回調査と比較すると、1.8%減少している。



【男女別】

- ・「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、男性は 60.3%、女性は 63.2%と、男性の方が高くなっている。

【年代別】

- ・「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、60歳代が69.9%と最も高く、次いで50歳代(68.0%)、70歳代(63.3%)となっている。
- ・20歳代では、「感じない」の割合が61.5%と、他の年代と比べると高くなっている。

【職業別】

- ・「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、公務員が 69.1%と最も高く、次いで自営業(65.7%)、その他(63.9%)となっている。

【地区別】

・「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、北部が 65.1%と最も高く、次いで東部（62.4%）、南部（62.1%）となっている。

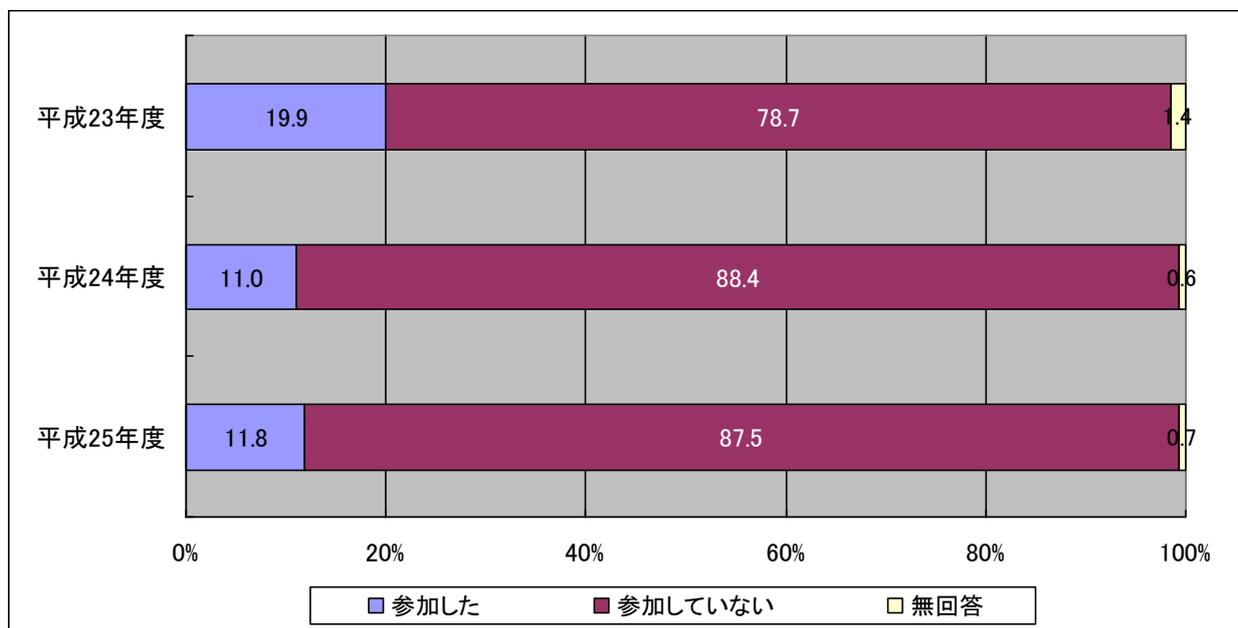
■回答者の属性別にみた「環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）」

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,152	20.1%	42.2%	36.9%	0.9%
性別					
男性	431	18.3%	42.0%	39.0%	0.7%
女性	676	20.6%	42.6%	35.9%	0.9%
年代別					
20歳代	96	7.3%	31.3%	61.5%	0.0%
30歳代	161	11.8%	48.4%	39.8%	0.0%
40歳代	191	15.2%	44.5%	40.3%	0.0%
50歳代	197	26.9%	41.1%	31.5%	0.5%
60歳代	243	26.7%	43.2%	29.6%	0.4%
70歳代	155	19.4%	43.9%	34.2%	2.6%
80歳代	71	22.5%	38.0%	35.2%	4.2%
職業別					
会社員	308	18.2%	40.6%	41.2%	0.0%
自営業	102	23.5%	42.2%	32.4%	2.0%
農林漁業	17	29.4%	23.5%	47.1%	0.0%
公務員	81	21.0%	48.1%	30.9%	0.0%
学生	24	16.7%	29.2%	54.2%	0.0%
無職	402	21.6%	41.8%	34.8%	1.7%
その他	172	14.5%	49.4%	36.0%	0.0%
地区別					
東部	364	21.2%	41.2%	36.8%	0.8%
西部	114	14.9%	43.9%	40.4%	0.9%
中央	231	16.0%	45.0%	38.1%	0.9%
南部	190	20.5%	41.6%	37.4%	0.5%
北部	209	22.0%	43.1%	34.0%	1.0%

問2. この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

【全体結果】

・「参加した」割合は 11.8%で、前回調査と比較すると、0.8%増加している。



【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・「参加した」割合は、80 歳代が 19.7%と最も高く、次いで 60 歳代(15.6%)、70 歳代(15.5%)となっている。

【職業別】

・「参加した」割合は、農林漁業が 29.4%と最も高く、次いで自営業(14.7%)、無職(12.2%)となっている。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に
参加しましたか。(1つだけ)」

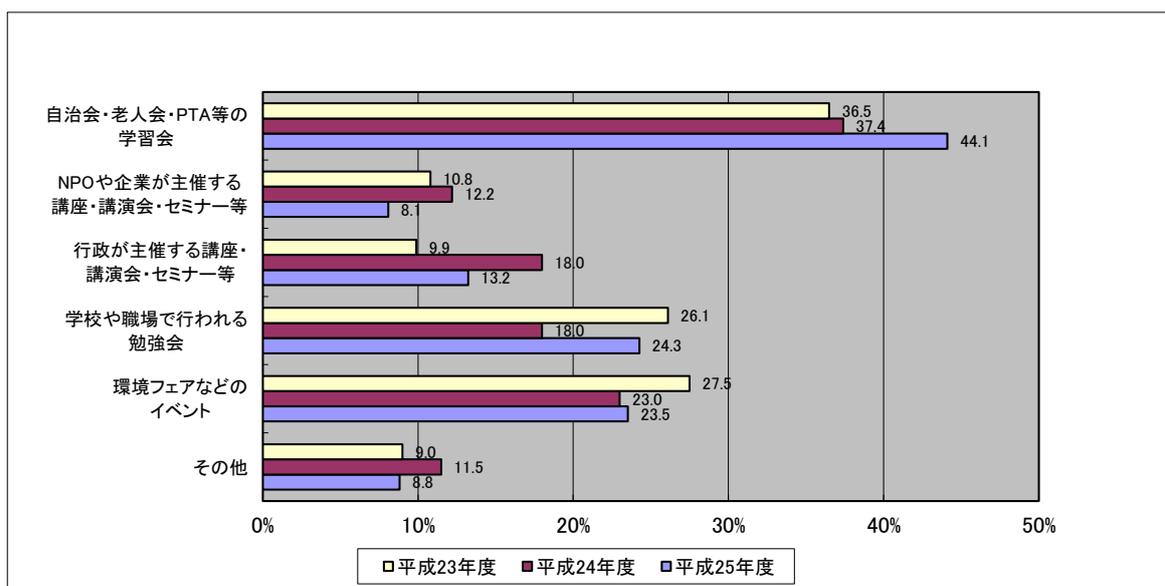
	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,152	11.8%	87.5%	0.7%
性別				
男性	431	12.8%	86.8%	0.5%
女性	676	10.4%	88.9%	0.7%
年代別				
20歳代	96	3.1%	96.9%	0.0%
30歳代	161	10.6%	89.4%	0.0%
40歳代	191	6.8%	92.1%	1.0%
50歳代	197	8.6%	91.4%	0.0%
60歳代	243	15.6%	83.5%	0.8%
70歳代	155	15.5%	83.9%	0.6%
80歳代	71	19.7%	77.5%	2.8%
職業別				
会社員	308	9.4%	90.3%	0.3%
自営業	102	14.7%	85.3%	0.0%
農林漁業	17	29.4%	70.6%	0.0%
公務員	81	11.1%	88.9%	0.0%
学生	24	8.3%	91.7%	0.0%
無職	402	12.2%	86.8%	1.0%
その他	172	9.9%	89.5%	0.6%
地区別				
東部	364	10.7%	89.0%	0.3%
西部	114	9.6%	90.4%	0.0%
中央	231	9.5%	89.2%	1.3%
南部	190	13.2%	85.8%	1.1%
北部	209	13.4%	86.1%	0.5%

問2-1. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。
(複数回答可)

【全体結果】

- ・問2で「参加した」と回答したうち、「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が44.1%と最も高く、次いで「学校や職場で行われる勉強会」(24.3%)、「環境フェアなどのイベント」(23.5%)となっている。
- ・「学校や職場で行われる勉強会」の割合は、前回調査では3位だったが、今回の調査では2位に上がっている。



【男女別】

- ・男性では「学校や職場で行われる勉強会」の割合が30.9%と、女性と比較して8.0%高くなっている。また、女性では「環境フェアなどのイベント」の割合が30.0%と、男性と比較して15.5%高くなっている。

【年代別】

- ・30歳代と40歳代では「学校や職場で行われる勉強会」の割合がそれぞれ52.9%、46.2%と、他の年代と比較して高くなっている。また、40歳代では「環境フェアなどのイベント」の割合が46.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・70歳代と80歳代では「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合がそれぞれ79.2%、92.9%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・会社員では「学校や職場で行われる勉強会」の割合が55.2%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・無職では「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が73.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・東部では「環境フェアなどのイベント」の割合が 35.9%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・西部では「学校や職場で行われる勉強会」の割合が 45.5%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・南部では「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が 56.0%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加した」と回答した場合、どのような学習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可）」

	合計	P T A 等 の 学 習 会 ・ 老 人 会 ・ 学 習 会	会 催 す ・ ミ ナ ナ 等 の 講 演 主	N P O や 企 業 が 主 催 す 講 座 等	ナ 座 行 政 が 主 催 す 講 座 等	れ 学 校 や 職 場 で 行 わ れ る 勉 強 会	イ 環 境 フ ェ ア な ど の ベ ン ト	そ の 他
全体	136	44.1%	8.1%	13.2%	24.3%	23.5%	8.8%	
性別								
男性	55	38.2%	3.6%	14.5%	30.9%	14.5%	9.1%	
女性	70	44.3%	11.4%	14.3%	22.9%	30.0%	10.0%	
年代別								
20歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	
30歳代	17	11.8%	0.0%	11.8%	52.9%	35.3%	17.6%	
40歳代	13	15.4%	23.1%	7.7%	46.2%	46.2%	0.0%	
50歳代	17	23.5%	5.9%	17.6%	41.2%	29.4%	11.8%	
60歳代	38	34.2%	15.8%	21.1%	18.4%	21.1%	7.9%	
70歳代	24	79.2%	0.0%	4.2%	4.2%	12.5%	8.3%	
80歳代	14	92.9%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	14.3%	
職業別								
会社員	29	13.8%	6.9%	0.0%	55.2%	27.6%	10.3%	
自営業	15	26.7%	26.7%	6.7%	20.0%	26.7%	13.3%	
農林漁業	5	80.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
公務員	9	22.2%	11.1%	22.2%	44.4%	44.4%	0.0%	
学生	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
無職	49	73.5%	2.0%	16.3%	4.1%	12.2%	10.2%	
その他	17	17.6%	11.8%	35.3%	35.3%	29.4%	11.8%	
地区別								
東部	39	35.9%	10.3%	7.7%	17.9%	35.9%	15.4%	
西部	11	27.3%	9.1%	18.2%	45.5%	9.1%	18.2%	
中央	22	36.4%	13.6%	22.7%	22.7%	27.3%	4.5%	
南部	25	56.0%	8.0%	8.0%	24.0%	12.0%	8.0%	
北部	28	50.0%	0.0%	21.4%	35.7%	14.3%	3.6%	

◆ 参考 ◆

○「その他」のイベント等

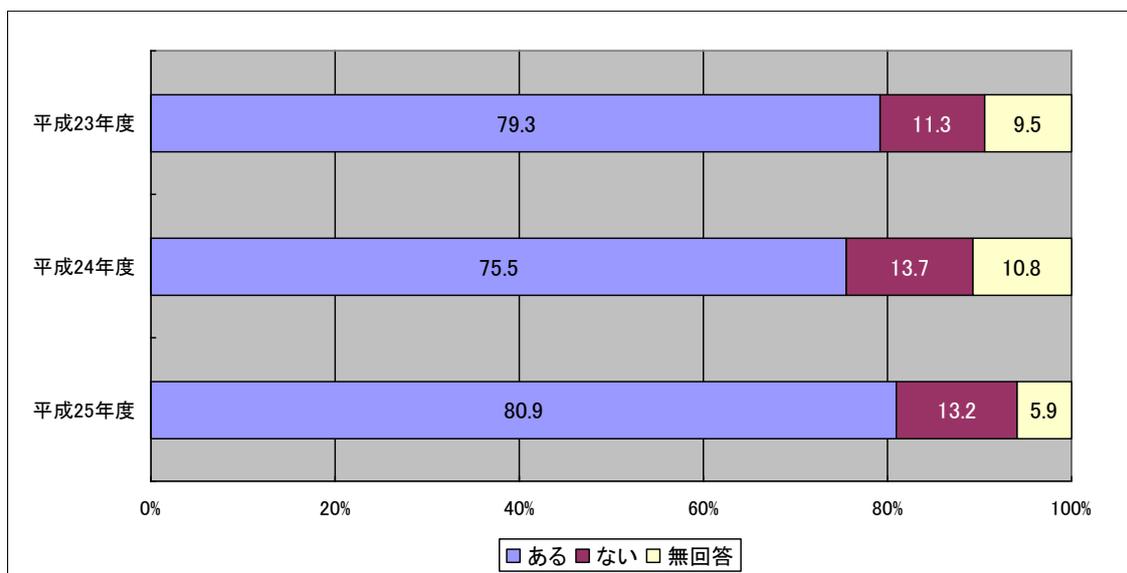
- ・環境カオリスト検定
- ・江津湖清掃
- ・太陽熱利用や省エネ住宅の仕事
- ・一斉清掃による町内の清掃、ゴミ收拾、町内の周辺の川辺の見廻り(不法投棄防止)
- ・熊本公德会
- ・子ども会や自治会での清掃活動
- ・有志による道路美化運動
- ・町内一斉清掃。ごみ置場の美化などの実施
- ・エコアクション
- ・植物研究会

問2-2. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。(1つだけ)

【全体結果】

・問2で「参加した」と回答したうち、「ある」の割合は 80.9%で、前回調査と比較すると、5.4%増加している。



【男女別】

・「ある」の割合は、男性が 70.9%、女性が 92.9%と、女性のほうが高くなっている。

【年代別】

・「ある」の割合は、50 歳代が 100%と最も高く、次いで 40 歳代(92.3%)、70 歳代(87.5%)となっている。

【職業別】

・「ある」の割合は、「その他」が 88.2%と最も高く、次いで会社員(82.8%)、無職(79.6%)となっている。

【地区別】

・「ある」の割合は、中央が 90.9%と最も高く、次いで北部(85.7%)、南部(84.0%)となっている。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。(1つだけ)」

	合計	ある	ない	無回答
全体	136	80.9%	13.2%	5.9%
性別				
男性	55	70.9%	21.8%	7.3%
女性	70	92.9%	4.3%	2.9%
年代別				
20歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%
30歳代	17	82.4%	17.6%	0.0%
40歳代	13	92.3%	7.7%	0.0%
50歳代	17	100.0%	0.0%	0.0%
60歳代	38	76.3%	18.4%	5.3%
70歳代	24	87.5%	0.0%	12.5%
80歳代	14	64.3%	28.6%	7.1%
職業別				
会社員	29	82.8%	13.8%	3.4%
自営業	15	73.3%	26.7%	0.0%
農林漁業	5	100.0%	0.0%	0.0%
公務員	9	100.0%	0.0%	0.0%
学生	2	50.0%	50.0%	0.0%
無職	49	79.6%	10.2%	10.2%
その他	17	88.2%	11.8%	0.0%
地区別				
東部	39	74.4%	20.5%	5.1%
西部	11	81.8%	9.1%	9.1%
中央	22	90.9%	9.1%	0.0%
南部	25	84.0%	12.0%	4.0%
北部	28	85.7%	7.1%	7.1%

◆ 参考 ◆

○※「ある」と答えた方(実践している内容)

- ・ゴミ分別を徹底する
- ・節電を心がける(照明の間引きなど)
- ・節水を心がける(朝の洗面は流しっぱなしではなく水をためて使っている。お風呂の残り水を洗濯に使用。洗濯洗剤は使用量が少なくて済み、すすぎ時間短縮のものを使用している。)
- ・省エネを心掛けている(コンセントは抜く。クーラーではなく扇風機、うちわで対応。家族がゴーヤを育てていて、窓の側で日陰を作ったり、植物を増やししたりしている。洗い物の余分な水を庭にまく。移動は歩かか自転車、バスを利用する。買物袋を持ち歩く。マイペットボトルを持ち歩く。)
- ・緑化の推進及び太陽光発電、太陽熱ソーラーを使用
- ・町内掃除、公園の草取り
- ・マイバッグを使用したり、携帯マグを常時持ち歩いたり、身近なことをしている
- ・なるだけペットボトルの飲料は買わず外出時には水筒を持参する
- ・エコ商品の購入
- ・登山や野外活動などにおいて動植物等に必要以上のダメージを与えないよう行動する
- ・ゴミ、資源収集について決められた日に、また有料袋、無料袋を確実に確認し出すようにしている
- ・マイバッグを利用する
- ・電機器具のエコ設定、オール電化、消灯等の節電
- ・ダンボールコンポストを利用
- ・活水器を付ける
- ・油や洗剤を環境に優しい物に変更した
- ・生ゴミ処理機を使い畑の肥料にしている
- ・自動車の空ふかし、急発進、急加速などしないように心掛けている
- ・ぼかし肥料、廃油石鹼作りもしている
- ・阿蘇草原再生募金に協力
- ・ノーマイカーデーを実践
- ・自治会、老人会による空き缶拾い
- ・有明海クリーン作戦に参加
- ・日常生活の中でのリサイクルへの取り組み、再利用。捨てる前に他の用途にも活用してみる

○「ない」と回答した場合、実践していない理由

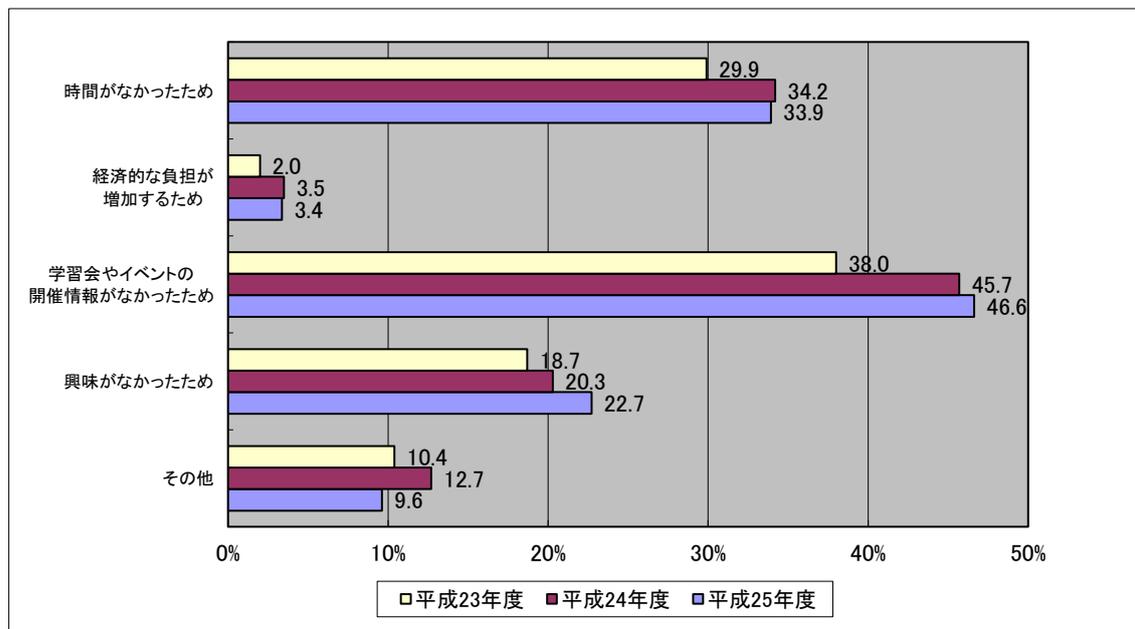
- ・仕事が忙しいため
- ・高齢、病気のため
- ・機会や具体的なイベント自体がないため
- ・参加する以前から実践している事とだぶるため
- ・イベントの開催情報がないため
- ・気持ちはあるが、ついその場になると忘れてしまうため
- ・親の介護のため

問2-3. 問2で「参加していない」と答えられた方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

【全体結果】

・問2で「参加していない」と回答したうち、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 46.6%と最も高く、次いで「時間がなかったため」(33.9%)、「興味がなかったため」(22.7%)となっており、前回調査と比較すると、順位に変化は見られない。



【男女別】

・男性では「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が 50.8%と、女性と比較して 6.4%高くなっている。

・女性では「時間がなかったため」の割合が 36.9%と、男性と比較して 7.5% 高くなっている。

【年代別】

・40 歳代以外の全ての年代で、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が最も高くなっている。

・40 歳代では「時間がなかったため」の割合が 49.4%と最も高くなっている。

【職業別】

・公務員では、「時間がなかったため」の割合が 56.9%と、他の職業と比較して高くなっている。

・農林漁業と学生では「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合がそれぞれ 83.3%、68.2%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)」

	合計	時間がなかったため	経済的な負担が増加するため	学習会やイベントの開催情報がないため	興味なかったため	その他
全体	1,008	33.9%	3.4%	46.6%	22.7%	9.6%
性別						
男性	374	29.4%	4.0%	50.8%	24.3%	5.9%
女性	601	36.9%	2.5%	44.4%	22.3%	12.1%
年代別						
20歳代	93	29.0%	1.1%	61.3%	35.5%	4.3%
30歳代	144	36.8%	1.4%	51.4%	25.0%	9.0%
40歳代	176	49.4%	3.4%	36.4%	26.1%	9.7%
50歳代	180	38.9%	4.4%	43.3%	24.4%	7.8%
60歳代	203	32.5%	4.4%	46.3%	18.2%	9.9%
70歳代	130	22.3%	4.6%	50.0%	17.7%	10.0%
80歳代	55	3.6%	0.0%	49.1%	10.9%	25.5%
職業別						
会社員	278	38.5%	1.1%	51.8%	28.1%	6.1%
自営業	87	41.4%	4.6%	29.9%	20.7%	5.7%
農林漁業	12	16.7%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
公務員	72	56.9%	1.4%	48.6%	22.2%	1.4%
学生	22	18.2%	4.5%	68.2%	36.4%	0.0%
無職	349	26.1%	4.6%	45.6%	20.6%	14.6%
その他	154	32.5%	4.5%	44.8%	18.8%	13.0%
地区別						
東部	324	33.3%	3.1%	48.5%	23.5%	11.7%
西部	103	34.0%	2.9%	46.6%	23.3%	7.8%
中央	206	35.4%	2.9%	47.1%	21.4%	9.2%
南部	163	36.8%	3.7%	41.7%	22.1%	11.7%
北部	180	31.7%	3.9%	47.8%	23.3%	6.7%

◆ 参考 ◆

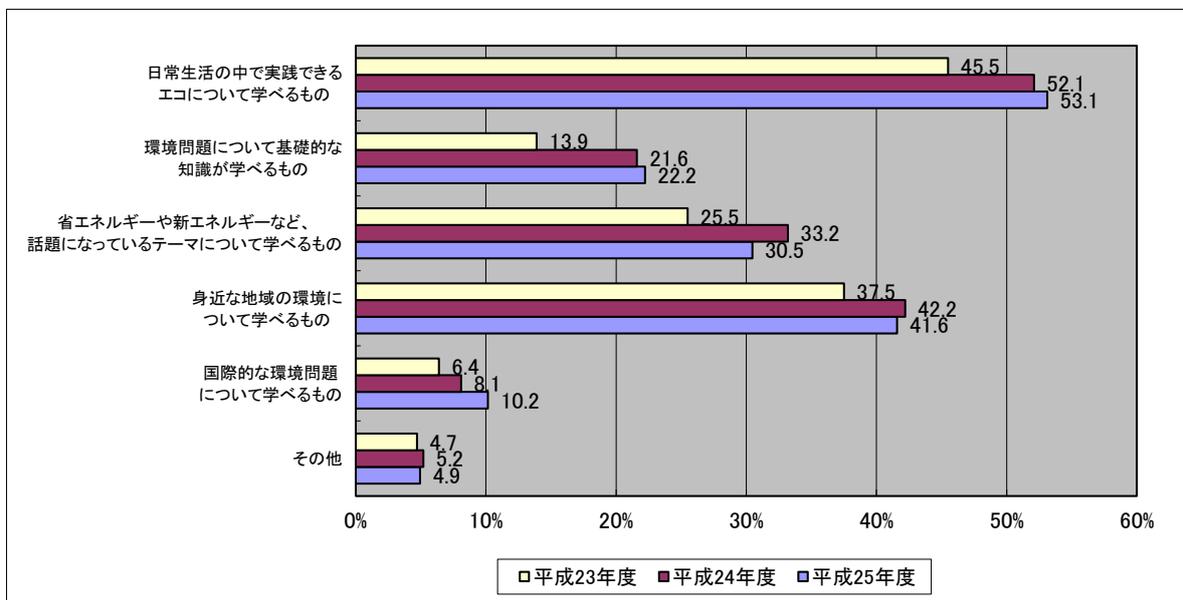
○その他の理由

- ・時間が合わなかったため
- ・参加の受付が簡単ではなかったため
- ・仕事のため
- ・介護のため
- ・病気のため
- ・市民に訴えるようなメッセージが足りないため
- ・その他のメディアで自習しているため
- ・高齢のため
- ・育児、出産のため
- ・時間、曜日が合わなかったため
- ・イベント等でなくても、インターネット等でも情報は得られるため
- ・遠い所でのイベントなどの場合、交通手段が無いので行くことができない

問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

・「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が53.1%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」(41.6%)、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」(30.5%)となっている。



【男女別】

・男性では「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」の割合が33.4%と、女性と比較して4.8%高くなっている。
 ・女性では「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が61.4%と、男性と比較して19.2%高くなっている。

【年代別】

・20 歳代では「国際的な環境問題について学べるもの」の割合が24.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・30 歳代では「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が64.6%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・50 歳代では「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」の割合が41.1%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・70 歳代では「身近な地域の環境について学べるもの」の割合が56.1%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

・農林漁業では「身近な地域の環境について学べるもの」の割合が76.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

・学生では「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」の割合が54.2%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

・全ての地域において「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が最も高くなっている。

■回答者の属性別にみた「今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)」

	合計	日常生活の中で実践できるもの	環境問題に関する知識が得られるもの	省エネルギーや新エネルギーに関する話題について学ぶもの	身近な地域の環境	国際的な環境問題	その他
全体	1,152	53.1%	22.2%	30.5%	41.6%	10.2%	4.9%
性別							
男性	431	42.2%	23.2%	33.4%	41.3%	10.0%	6.5%
女性	676	61.4%	22.2%	28.6%	42.3%	10.5%	4.3%
年代別							
20歳代	96	61.5%	21.9%	32.3%	37.5%	24.0%	3.1%
30歳代	161	64.6%	26.7%	32.9%	33.5%	12.4%	7.5%
40歳代	191	56.0%	20.4%	29.8%	36.6%	6.3%	7.3%
50歳代	197	53.3%	26.4%	41.1%	41.1%	14.7%	4.1%
60歳代	243	56.8%	20.6%	29.2%	44.9%	7.4%	2.9%
70歳代	155	43.2%	18.7%	21.9%	56.1%	3.9%	5.8%
80歳代	71	28.2%	26.8%	19.7%	40.8%	11.3%	5.6%
職業別							
会社員	308	58.8%	21.4%	31.2%	37.3%	11.7%	4.9%
自営業	102	42.2%	21.6%	28.4%	37.3%	11.8%	4.9%
農林漁業	17	29.4%	23.5%	35.3%	76.5%	17.6%	0.0%
公務員	81	48.1%	23.5%	48.1%	30.9%	13.6%	6.2%
学生	24	58.3%	37.5%	54.2%	41.7%	29.2%	4.2%
無職	402	51.2%	22.9%	27.1%	48.3%	8.7%	4.7%
その他	172	62.8%	22.7%	27.9%	40.7%	6.4%	7.0%
地区別							
東部	364	52.2%	25.0%	30.5%	42.0%	11.8%	5.8%
西部	114	56.1%	17.5%	28.1%	38.6%	12.3%	7.9%
中央	231	53.7%	21.6%	33.8%	42.0%	13.0%	4.8%
南部	190	57.4%	21.6%	25.3%	38.9%	6.3%	4.7%
北部	209	53.1%	24.4%	33.5%	44.0%	8.1%	3.3%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

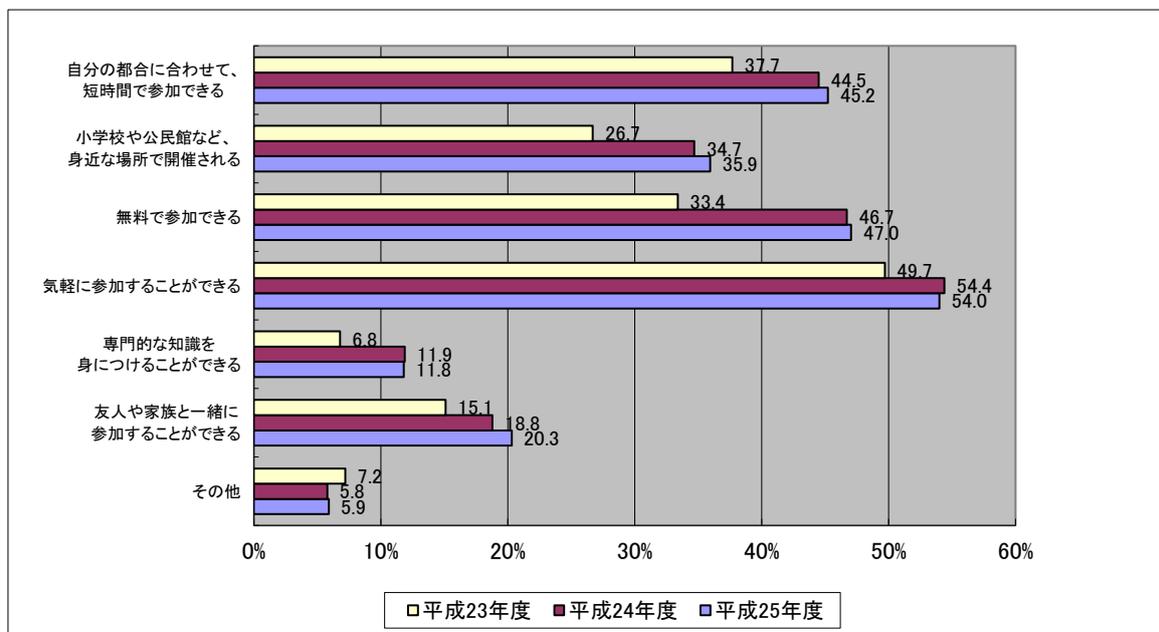
- ・集合住宅の環境対策に関する事
- ・参加することでビジネスに生かすことができるもの、資格等

- ・ゴーヤのカーテンの作り方。簡単コンポスの作り方
- ・放射能汚染、PM2.5 等
- ・水質について(飲用水)
- ・電磁波
- ・環境に配慮した商品や、その見分け方を学べるもの。成分、原材料など。環境にやさしい材料で作れる身近なものを学べるもの、作れるもの
- ・子どもと一緒に参加できるもの
- ・熊本における環境問題について学べるもの
- ・有名な人の講演
- ・バザー等があること
- ・娯楽的イベント(例:お城まつりとかと抱き合わせ)
- ・環境を学びながら旅行するなど他業種とマッチアップさせる
- ・体験型のイベント
- ・本質的に正しい情報に基づくものであること

問4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「気軽に参加することができる」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「無料で参加できる」(47.0%)、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」(45.2%)となっている。
- ・順位や割合など、全ての項目において、前回調査とほぼ同じ結果であった。



【男女別】

- ・女性では「無料で参加できる」の割合が 52.8%と、男性と比較して 13.4%高くなっている。

【年代別】

- ・比較的若い年代ほど「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」と回答した割合が高くなっている。
- ・20歳代及び30歳代では「無料で参加できる」の割合がそれぞれ69.8%、65.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・70歳代では「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」の割合が47.1%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・学生では「無料で参加できる」が79.2%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)」

	合計	加せ自 でて分 けるの 都合 時間 で合 参わ	開ど小 催、学 され身 れる近 るなや 場公 所館 でな	無 料 で 参 加 で き る	と気 が 軽 に 参 加 す る こ と	きに専 つ門 ける けな るな こと が知 識を が身	でに友 参人 加や する る家 族 こと 一 緒	その他
全体	1,152	45.2%	35.9%	47.0%	54.0%	11.8%	20.3%	5.9%
性別								
男性	431	41.8%	36.4%	39.4%	50.8%	13.0%	18.6%	5.8%
女性	676	48.7%	36.2%	52.8%	56.8%	11.2%	21.7%	5.9%
年代別								
20歳代	96	53.1%	26.0%	69.8%	56.3%	12.5%	19.8%	7.3%
30歳代	161	52.8%	32.9%	65.2%	56.5%	12.4%	32.9%	8.7%
40歳代	191	49.7%	37.7%	55.0%	53.9%	13.6%	26.2%	8.4%
50歳代	197	53.8%	34.0%	47.2%	57.4%	16.8%	18.3%	4.1%
60歳代	243	45.7%	37.4%	40.7%	57.2%	9.9%	11.5%	3.3%
70歳代	155	27.7%	47.1%	30.3%	49.7%	5.8%	23.2%	5.2%
80歳代	71	26.8%	36.6%	21.1%	40.8%	12.7%	8.5%	5.6%
職業別								
会社員	308	54.5%	31.5%	54.2%	58.4%	12.7%	21.1%	5.2%
自営業	102	48.0%	29.4%	37.3%	35.3%	14.7%	16.7%	4.9%
農林漁業	17	41.2%	47.1%	23.5%	64.7%	5.9%	5.9%	0.0%
公務員	81	48.1%	27.2%	37.0%	40.7%	14.8%	24.7%	12.3%
学生	24	45.8%	25.0%	79.2%	62.5%	12.5%	33.3%	8.3%
無職	402	35.3%	44.3%	42.3%	54.5%	10.4%	18.4%	4.7%
その他	172	53.5%	37.2%	58.1%	62.8%	11.6%	24.4%	7.6%
地区別								
東部	364	43.7%	36.8%	49.5%	56.6%	11.0%	20.9%	8.2%
西部	114	50.0%	33.3%	46.5%	47.4%	6.1%	21.1%	7.0%
中央	231	50.6%	33.3%	47.6%	51.5%	16.9%	16.0%	4.3%
南部	190	43.7%	37.4%	43.7%	55.8%	8.4%	23.2%	5.8%
北部	209	44.5%	39.7%	48.3%	55.0%	14.4%	22.5%	3.3%

◆ 参考 ◆

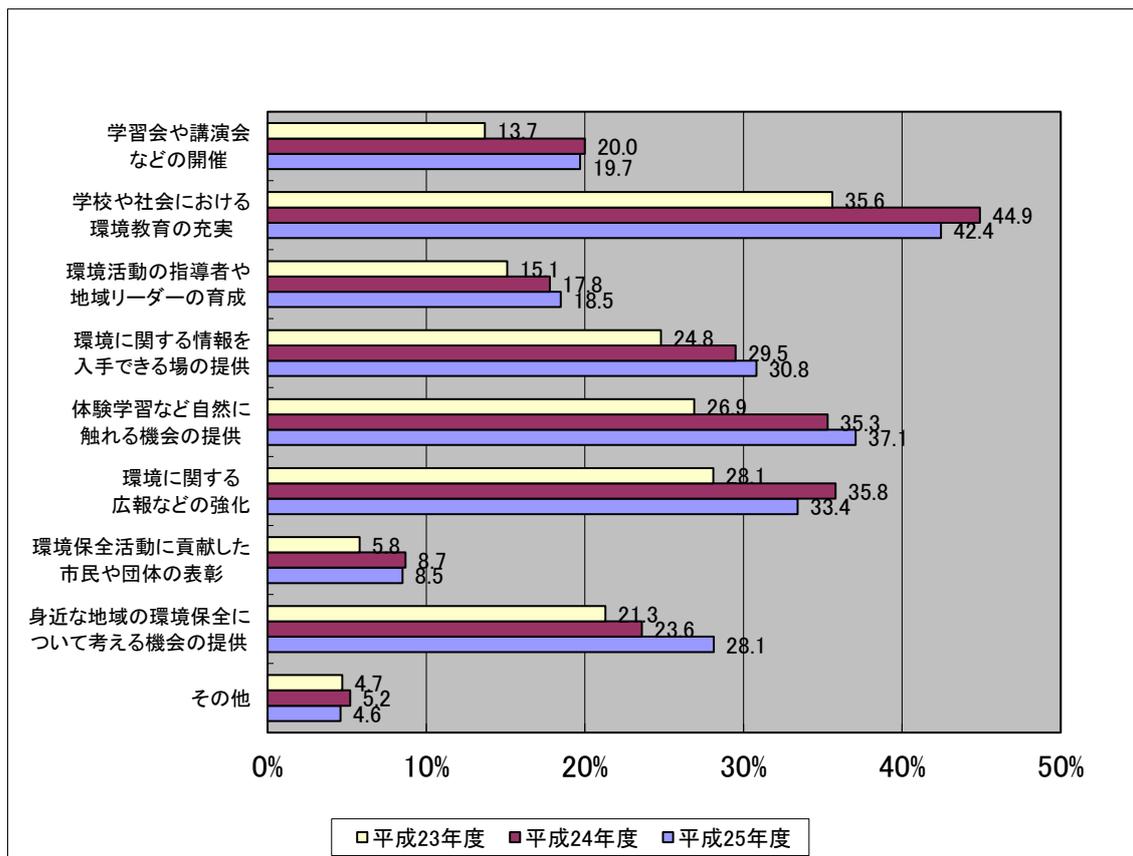
○その他の内容

- ・乳幼児連れでも安心して参加できる場所があること(子どもを預ける場所があること)。
- ・仕事の一環として参加可能であること。
- ・職場の時間の中でなど、強制的な条件のもとであれば参加する。
- ・勤務先が公休として扱ってくれること。
- ・学校行事の一環としてのもの。
- ・土・日に企画されているもの。
- ・無料駐車場があること。
- ・車椅子での移動が可能であること。
- ・交通の便が良く、参加しやすい場所での開催であること。
- ・ショッピングモールで気軽に参加できるもの。
- ・入場料等(会場費含む)の補助があること。

問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「学校や社会における環境教育の充実」の割合が 42.4%と最も高く、次いで、「体験学習など自然に触れる機会の提供」(37.1%)、「環境に関する広報などの強化」(33.4%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合が3位から2位に上がり、「環境に関する広報などの強化」の割合と順位が入れ替わった。



【男女別】

- ・女性では「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合が 41.7%と、男性と比較して 10.4% 高くなっている。

【年代別】

- ・20 歳代では「環境に関する情報を入手できる場の提供」の割合が 42.7%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・30 歳代では「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合が 52.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・50 歳代では「学校や社会における環境教育の充実」の割合が 52.3%と、他の年代と比較して高くなっている。

・60歳代では「身近な地域の環境保全について考える機会の提供」の割合が35.4%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・農林漁業では「身近な地域の環境保全について考える機会の提供」が64.7%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・学生では「体験学習など自然に触れる機会の提供」が62.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「市民の環境保全意識を高めるため、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)」

	合計	学習会や講演会など	学校や社会活動の充実	地域活動の推進	環境にやさしい生活の推進	体験学習など自然に触れる機会の提供	環境にやさしい生活の推進	環境にやさしい生活の推進	環境にやさしい生活の推進	環境にやさしい生活の推進	その他
全体	1,152	19.7%	42.4%	18.5%	30.8%	37.1%	33.4%	8.5%	28.1%	4.6%	
性別											
男性	431	20.0%	40.6%	18.8%	32.3%	31.3%	32.7%	9.5%	28.1%	6.3%	
女性	676	20.0%	44.7%	18.3%	30.3%	41.7%	34.3%	7.7%	28.7%	3.7%	
年代別											
20歳代	96	17.7%	44.8%	12.5%	42.7%	44.8%	32.3%	15.6%	24.0%	3.1%	
30歳代	161	13.7%	46.0%	14.3%	34.2%	52.2%	25.5%	11.8%	26.1%	7.5%	
40歳代	191	13.1%	46.6%	15.2%	26.7%	42.9%	29.8%	8.9%	23.6%	6.8%	
50歳代	197	24.9%	52.3%	23.4%	38.6%	37.6%	37.1%	8.1%	27.9%	5.1%	
60歳代	243	23.0%	42.4%	18.9%	32.1%	30.0%	37.4%	5.3%	35.4%	2.5%	
70歳代	155	23.2%	27.7%	20.6%	22.6%	31.0%	38.1%	7.1%	29.0%	4.5%	
80歳代	71	25.4%	33.8%	28.2%	15.5%	19.7%	32.4%	7.0%	28.2%	1.4%	
職業別											
会社員	308	14.6%	45.5%	17.9%	35.4%	41.2%	32.1%	10.7%	26.3%	5.2%	
自営業	102	20.6%	41.2%	19.6%	27.5%	30.4%	36.3%	7.8%	30.4%	3.9%	
農林漁業	17	23.5%	52.9%	23.5%	41.2%	11.8%	5.9%	5.9%	64.7%	0.0%	
公務員	81	22.2%	44.4%	16.0%	32.1%	43.2%	24.7%	14.8%	29.6%	7.4%	
学生	24	25.0%	41.7%	12.5%	45.8%	62.5%	20.8%	8.3%	25.0%	8.3%	
無職	402	23.4%	37.8%	21.6%	26.4%	30.6%	37.3%	5.5%	28.1%	3.5%	
その他	172	19.8%	50.0%	14.5%	33.7%	48.3%	36.0%	10.5%	27.9%	5.8%	
地区別											
東部	364	17.9%	44.5%	17.0%	33.2%	37.9%	38.5%	9.3%	25.8%	3.3%	
西部	114	22.8%	37.7%	20.2%	34.2%	36.8%	29.8%	12.3%	29.8%	6.1%	
中央	231	23.8%	44.2%	21.2%	34.6%	39.8%	27.7%	9.5%	28.6%	6.9%	
南部	190	16.3%	38.4%	16.3%	21.6%	34.2%	31.1%	6.3%	28.4%	6.3%	
北部	209	21.5%	45.0%	19.1%	30.6%	36.8%	36.8%	6.2%	31.1%	2.9%	

◆ 参考 ◆

○その他の内容

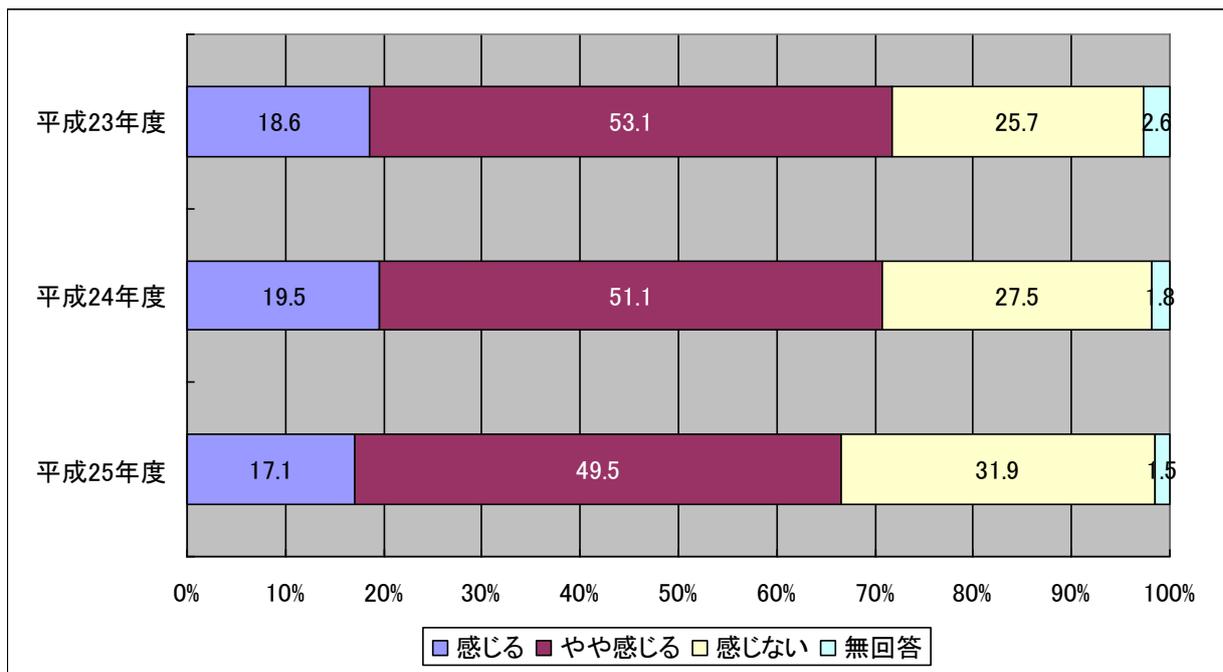
- ・市職員が率先して環境保全活動に取り組みアピールする
- ・報道機関へ協力を要請する。また報道機関へ情報を積極的に提供すると効果があると思う
- ・インターネット情報を充実させる
- ・市長自らが環境保全のために何をしているのかをテレビ、新聞などで伝える
- ・国際的な環境団体への加盟(参加)
- ・くまモンによるTVコマーシャル
- ・新聞、テレビ、HPを活用
- ・法律違反者に対する罰則の厳罰化
- ・企業への参加半義務化。まず公務員のお手本により企業への責任を問うシステム
- ・依頼を待つのではなく、行政側の積極的な出前講座(地域公民館等)
- ・子どもに美しい自然に触れさせ、これを守るため親と一緒に清掃活動に取り組む
- ・環境保全活動に貢献した市民に何かメリットを与える
- ・まじめ一方ではない楽しさのあるイベントを開催する
- ・環境保全ができていない所を広く紹介する
- ・補助金や減税の実施
- ・モデル地区(地域)作り(実際、環境に配慮した場所を作り、実感を持って良さを感じられるようにする)

問6～12「まちづくりプロジェクト」について

問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

【全体結果】

- ・「やや感じる」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「感じない」が 31.9%、「感じる」が 17.1%となっている。
- ・「やや感じる」と「感じる」の割合を合わせると 66.6%で、前回調査と比較すると 4.0% 低下している。



【男女別】

- ・「感じない」と回答した割合は男性が 37.1%、女性が 29.0%と、男性のほうが 8.1%高くなっている。

【年代別】

- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、60歳代が 72.4%と最も高く、次いで50歳代(70.1%)、70歳代(69.7%)となっている。
- ・20歳代では、「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が 53.1%と、他の世代と比較して低くなっている。

【職業別】

- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、公務員が 71.6%と最も高く、次いで農林漁業(70.5%)、無職(67.9%)となっている。

【地区別】

- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、北部が 70.3%と最も高く、次いで東部

(68.9%)、南部(66.4%)となっている。

■回答者の属性別にみた「環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)」

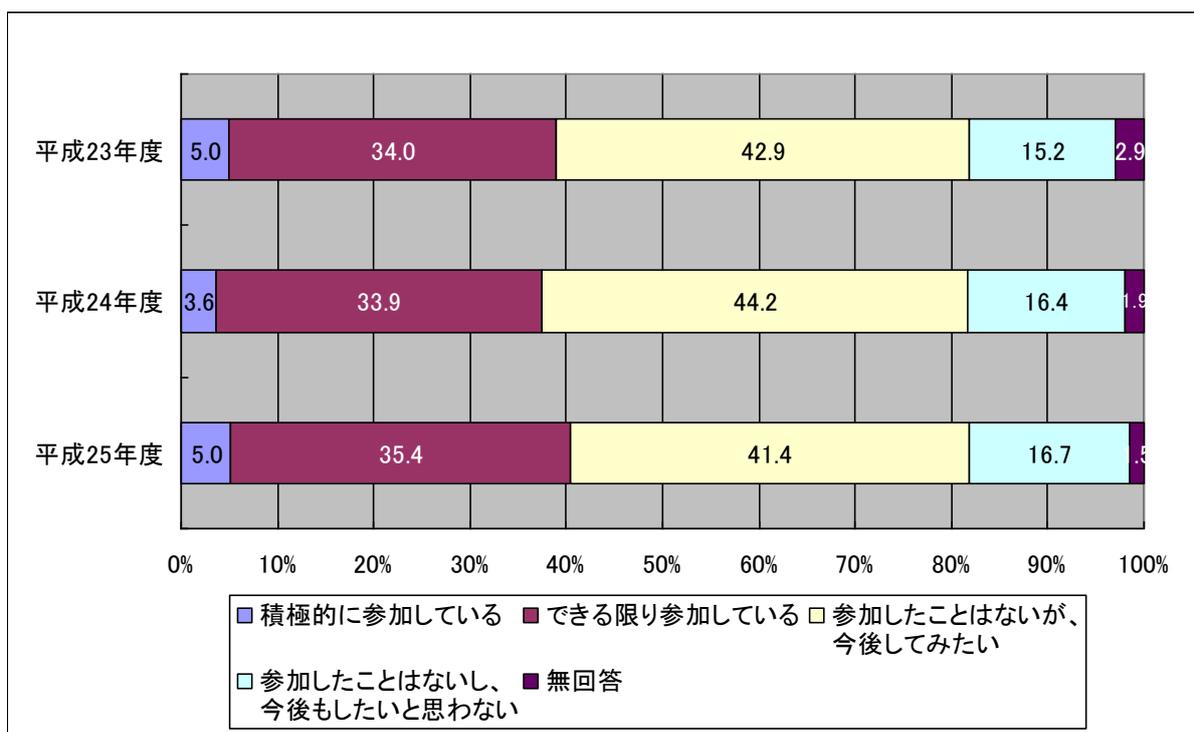
	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,152	17.1%	49.5%	31.9%	1.5%
性別					
男性	431	14.8%	47.3%	37.1%	0.7%
女性	676	18.2%	51.2%	29.0%	1.6%
年代別					
20歳代	96	7.3%	45.8%	46.9%	0.0%
30歳代	161	12.4%	48.4%	39.1%	0.0%
40歳代	191	12.6%	56.0%	31.4%	0.0%
50歳代	197	18.8%	51.3%	28.9%	1.0%
60歳代	243	18.9%	53.5%	26.3%	1.2%
70歳代	155	23.9%	45.8%	28.4%	1.9%
80歳代	71	25.4%	32.4%	33.8%	8.5%
職業別					
会社員	308	12.0%	51.6%	35.7%	0.6%
自営業	102	16.7%	51.0%	32.4%	0.0%
農林漁業	17	17.6%	52.9%	29.4%	0.0%
公務員	81	21.0%	50.6%	28.4%	0.0%
学生	24	20.8%	41.7%	37.5%	0.0%
無職	402	20.4%	47.5%	29.6%	2.5%
その他	172	15.7%	50.6%	33.1%	0.6%
地区別					
東部	364	16.2%	52.7%	29.9%	1.1%
西部	114	15.8%	46.5%	36.0%	1.8%
中央	231	14.7%	46.8%	36.4%	2.2%
南部	190	15.3%	51.1%	32.6%	1.1%
北部	209	22.5%	47.8%	29.2%	0.5%

問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

【全体結果】

・「参加したことはないが、今後してみたい」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「できる限り参加している」が 35.4%、「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」が 16.7%となっている。

・「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせると 40.4%で、前回調査と比較すると 2.9%増加している。



【男女別】

・性別による違いはあまり見られない。

【年代別】

・「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、70 歳代では 51.0%と最も高く、次いで 80 歳代(49.3%)、50 歳代(48.7%)となっている。また、20 歳代では 9.4%、30 歳代では 22.4%と、他の世代と比較すると低くなっている。

【職業別】

・「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、農林漁業では 70.5%と最も高く、次いで公務員(48.2%)、無職(46.5%)となっている。また、学生では 4.2%と最も低くなっている。

【地区別】

・「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、南部で

は 47.9%と最も高く、次いで北部(47.4%)、東部(39.8%)となっている。また、中央部では 27.7%と最も低くなっている。

■回答者の属性別にみた「日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)」

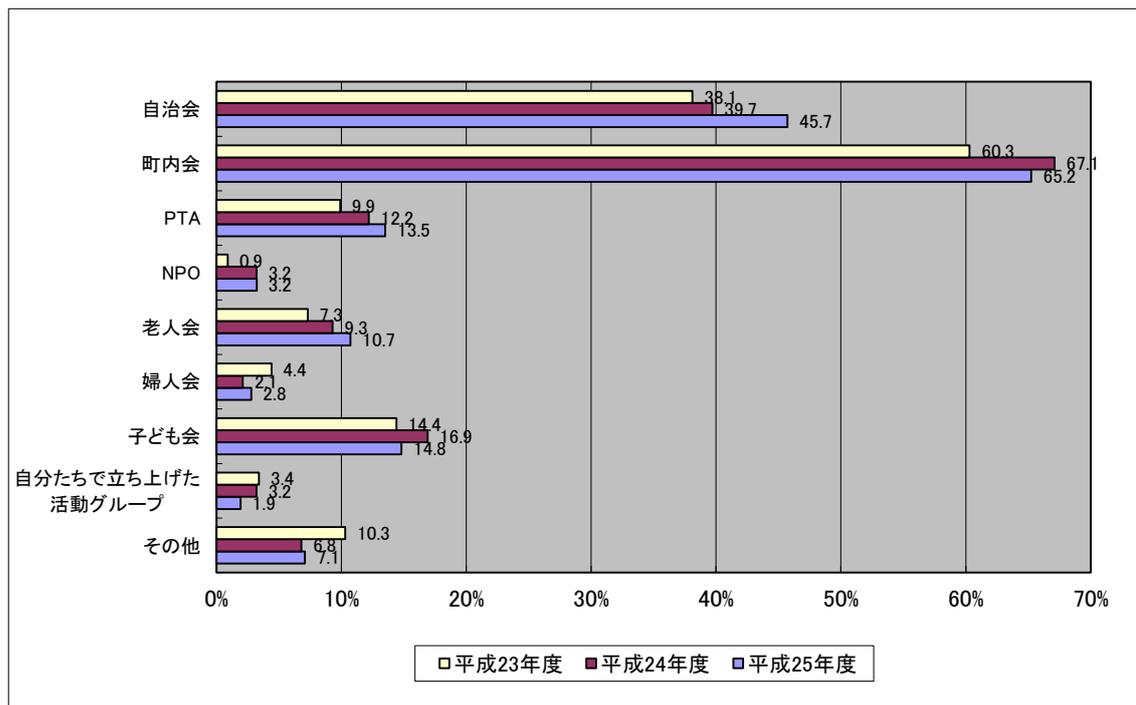
	合計	参加積極的 している	参加 できる限り している	たい参 加が した 今後 して は みな	いい参 加し た 今 後 も し は な	無 回 答
全体	1,152	5.0%	35.4%	41.4%	16.7%	1.5%
性別						
男性	431	4.9%	33.9%	42.7%	17.9%	0.7%
女性	676	4.7%	35.8%	41.6%	16.1%	1.8%
年代別						
20歳代	96	0.0%	9.4%	58.3%	32.3%	0.0%
30歳代	161	3.1%	19.3%	59.6%	18.0%	0.0%
40歳代	191	3.1%	42.9%	34.6%	18.3%	1.0%
50歳代	197	6.1%	42.6%	43.1%	7.1%	1.0%
60歳代	243	4.9%	37.0%	43.2%	13.6%	1.2%
70歳代	155	9.7%	41.3%	32.3%	15.5%	1.3%
80歳代	71	4.2%	45.1%	14.1%	28.2%	8.5%
職業別						
会社員	308	3.2%	26.9%	53.2%	16.6%	0.0%
自営業	102	2.0%	33.3%	45.1%	18.6%	1.0%
農林漁業	17	17.6%	52.9%	29.4%	0.0%	0.0%
公務員	81	6.2%	42.0%	37.0%	14.8%	0.0%
学生	24	0.0%	4.2%	66.7%	29.2%	0.0%
無職	402	5.7%	40.8%	34.6%	17.2%	1.7%
その他	172	5.2%	38.4%	37.8%	15.1%	3.5%
地区別						
東部	364	5.2%	34.6%	39.0%	19.0%	2.2%
西部	114	5.3%	33.3%	42.1%	18.4%	0.9%
中央	231	2.6%	25.1%	53.7%	16.5%	2.2%
南部	190	3.2%	44.7%	36.8%	15.3%	0.0%
北部	209	7.7%	39.7%	38.8%	13.4%	0.5%

問7-1. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答したうち、「町内会」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「自治会」(45.7%)、「子ども会」(14.8%)となっている。
- ・前回調査と順位は変わらないが、「自治会」の割合が前回調査と比較して、6.0%増加している。



【男女別】

- ・男性では「老人会」の割合が 12.0%と、女性と比較して 4.3%高くなっている。
- ・女性では「町内会」の割合が 69.0%と、男性と比較して 6.7%高くなっている。また、「子ども会」の割合が 19.0%と、男性と比較して 8.8%高くなっている。

【年代別】

- ・30 歳代では「自治会」の割合が 55.6%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・40 歳代では「PTA」の割合が 37.5%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・30 歳代及び 40 歳代では「子ども会」の割合がそれぞれ 36.1%、35.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・70 歳代及び 80 歳代では「老人会」の割合がそれぞれ 26.6%、40.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・80 歳代では「町内会」の割合が 80.0%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・農林漁業では「自治会」が 83.3%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・公務員では「PTA」が 35.9%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・無職では「町内会」が 76.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・西部及び北部では「自治会」がそれぞれ 52.3%、55.6%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・西部では「町内会」が 81.8%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・中央では「子ども会」が 21.9%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)」

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで 活動グループ 立ち上げ	その他
全体	466	45.7%	65.2%	13.5%	3.2%	10.7%	2.8%	14.8%	1.9%	7.1%
性別										
男性	167	47.3%	62.3%	10.8%	2.4%	12.0%	0.6%	10.2%	2.4%	9.6%
女性	274	44.5%	69.0%	16.1%	4.0%	7.7%	4.4%	19.0%	1.8%	5.8%
年代別										
20歳代	9	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代	36	55.6%	63.9%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	36.1%	0.0%	5.6%
40歳代	88	42.0%	59.1%	37.5%	2.3%	0.0%	2.3%	35.2%	0.0%	9.1%
50歳代	96	39.6%	68.8%	18.8%	5.2%	0.0%	4.2%	12.5%	2.1%	8.3%
60歳代	102	52.9%	64.7%	2.0%	4.9%	5.9%	2.9%	4.9%	3.9%	9.8%
70歳代	79	51.9%	69.6%	1.3%	2.5%	26.6%	5.1%	8.9%	2.5%	3.8%
80歳代	35	28.6%	80.0%	0.0%	2.9%	40.0%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%
職業別										
会社員	93	40.9%	57.0%	11.8%	2.2%	0.0%	1.1%	18.3%	2.2%	11.8%
自営業	36	36.1%	69.4%	2.8%	11.1%	8.3%	5.6%	8.3%	8.3%	11.1%
農林漁業	12	83.3%	16.7%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%
公務員	39	48.7%	64.1%	35.9%	5.1%	0.0%	0.0%	17.9%	0.0%	10.3%
学生	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	187	49.2%	76.5%	7.0%	2.7%	18.7%	2.7%	12.3%	1.6%	2.7%
その他	75	40.0%	62.7%	28.0%	2.7%	1.3%	6.7%	24.0%	0.0%	6.7%
地区別										
東部	145	44.1%	66.9%	17.2%	3.4%	7.6%	2.1%	15.2%	2.1%	7.6%
西部	44	52.3%	81.8%	11.4%	6.8%	9.1%	2.3%	15.9%	6.8%	2.3%
中央	64	34.4%	67.2%	17.2%	3.1%	7.8%	3.1%	21.9%	4.7%	10.9%
◆南参考◆	91	41.8%	60.4%	14.3%	3.3%	12.1%	2.2%	15.4%	0.0%	9.9%
北部	99	55.6%	63.6%	8.1%	2.0%	10.1%	5.1%	11.1%	0.0%	4.0%

○その他の内容

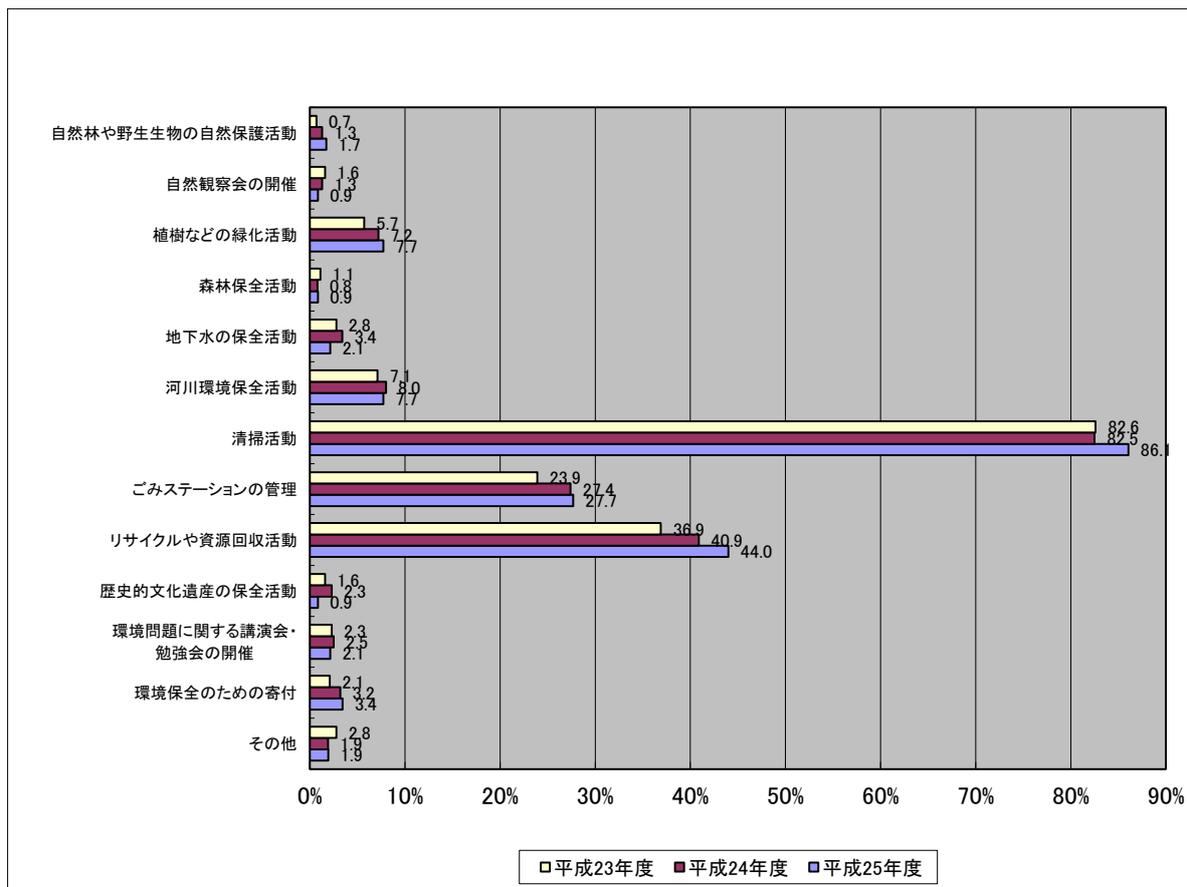
- ・職場
- ・水士里ネット
- ・こどもの部活
- ・小学校
- ・ライオンズクラブ
- ・他の町内会
- ・自治会の女性部

問7-2. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答したうち、「清掃活動」の割合が 86.1%と最も高く、次いで「リサイクルや資源回収活動」(44.0%)、ごみステーションの管理(27.7%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、多くの項目で回答割合が高くなっているが、順位に大きな変化は見られない。



【男女別】

- ・男性では「植樹などの緑化活動」の割合が 10.8%と、女性と比較して 5.0%高くなっている。
- ・女性では「ごみステーションの管理」の割合が 31.4%と、男性と比較して 8.0%高くなっている。また、「リサイクルや資源回収活動」の割合が 49.6%と、男性と比較して 13.1%高くなっている。

【年代別】

- ・30歳代及び40歳代では「リサイクルや資源回収活動」の割合がそれぞれ 52.8%、54.5%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・農林漁業では「河川環境保全活動」の割合が 41.7%、「植樹などの緑化活動」及び「地下水の保全活動」の割合が 16.7%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・公務員では「清掃活動」の割合が 97.4%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・「無職」では「ごみステーションの管理」の割合が 35.8%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・西部では「河川環境保全活動」が 15.9%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・北部では「リサイクルや資源回収活動」の割合が 55.6%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

	合計	の自然林や野生生物の保護活動	自然観察会の開催	動植物などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	回収サイクルや資源	歴史的文化的遺産の活動	環境問題・趣に関心する	環境保全のための	その他
全体	466	1.7%	0.9%	7.7%	0.9%	2.1%	7.7%	86.1%	27.7%	44.0%	0.9%	2.1%	3.4%	1.9%
性別														
男性	167	3.6%	1.2%	10.8%	0.6%	3.6%	10.2%	88.0%	23.4%	36.5%	1.2%	1.2%	1.2%	0.6%
女性	274	0.7%	0.7%	5.8%	0.4%	1.5%	6.6%	86.1%	31.4%	49.6%	0.4%	2.2%	4.7%	2.6%
年代別														
20歳代	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
30歳代	36	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	5.6%	91.7%	27.8%	52.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
40歳代	88	0.0%	1.1%	6.8%	0.0%	1.1%	4.5%	87.5%	18.2%	54.5%	0.0%	1.1%	1.1%	2.3%
50歳代	96	3.1%	1.0%	7.3%	2.1%	2.1%	8.3%	89.6%	27.1%	45.8%	0.0%	1.0%	5.2%	0.0%
60歳代	102	2.0%	0.0%	10.8%	0.0%	5.9%	12.7%	88.2%	34.3%	39.2%	0.0%	3.9%	5.9%	1.0%
70歳代	79	1.3%	1.3%	7.6%	0.0%	1.3%	7.6%	83.5%	31.6%	44.3%	2.5%	2.5%	1.3%	2.5%
80歳代	35	5.7%	2.9%	8.6%	0.0%	0.0%	5.7%	80.0%	31.4%	28.6%	2.9%	0.0%	2.9%	5.7%
職業別														
会社員	93	2.2%	0.0%	8.6%	1.1%	3.2%	8.6%	86.0%	18.3%	37.6%	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%
自営業	36	8.3%	2.8%	8.3%	0.0%	2.8%	8.3%	88.9%	13.9%	44.4%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%
農林漁業	12	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	41.7%	66.7%	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	39	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	7.7%	97.4%	28.2%	46.2%	0.0%	5.1%	2.6%	0.0%
学生	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	187	1.6%	1.1%	8.6%	0.5%	2.1%	6.4%	87.2%	35.8%	47.6%	1.6%	1.6%	2.7%	2.7%
その他	75	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	85.3%	28.0%	45.3%	0.0%	1.3%	5.3%	1.3%
地区別														
東部	145	2.1%	1.4%	4.1%	0.0%	2.8%	4.8%	87.6%	33.1%	38.6%	0.7%	3.4%	4.1%	0.7%
西部	44	0.0%	0.0%	13.6%	2.3%	6.8%	15.9%	84.1%	25.0%	45.5%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
中央	64	1.6%	0.0%	7.8%	0.0%	0.0%	6.3%	85.9%	23.4%	42.2%	0.0%	1.6%	3.1%	0.0%
南部	91	2.2%	1.1%	6.6%	0.0%	3.3%	9.9%	86.8%	16.5%	44.0%	0.0%	0.0%	5.5%	2.2%
北部	99	2.0%	1.0%	11.1%	1.0%	0.0%	8.1%	86.9%	35.4%	55.6%	1.0%	1.0%	2.0%	4.0%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

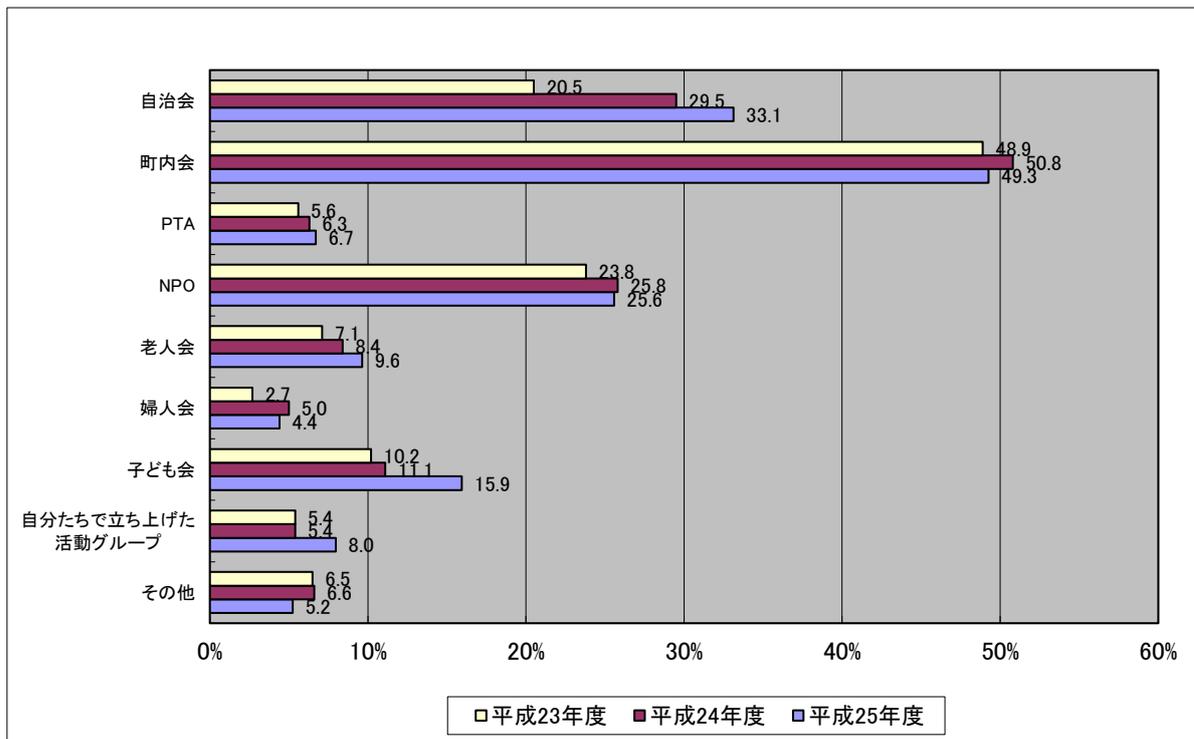
- ・ベルマークを集めている。
- ・町内の一斉清掃に参加
- ・老人会の食事会で勉強会を行っている

問7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「参加したことはないが、今後してみたい」と回答したうち、「町内会」の割合が49.3%と最も高く、次いで「自治会」(33.1%)、「NPO」(25.6%)となっている。
- ・「自治会」の割合が、調査ごとに、徐々に高くなってきている。



【男女別】

- ・男性では「自治会」の割合が35.9%と、女性と比較して5.3%高くなっている。

【年代別】

- ・20歳代では「NPO」の割合が50.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・30歳代及び40歳代では「子ども会」の割合がそれぞれ37.5%、28.8%と、他の年代と比較して高くなっている。また、「PTA」の割合もそれぞれ16.7%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・50歳代及び60歳代では「町内会」の割合がそれぞれ58.8%、60.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・80歳代では「自治会」及び「老人会」の割合がそれぞれ60.0%、70.0%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・学生では「NPO」及び「自分たちで立ち上げた活動グループ」の割合がそれぞれ

62.5%、25.0%と、他の職業と比較して高くなっている。

・公務員では「子ども会」の割合が33.3%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

・東部では「自治会」の割合が38.7%と、他の地区と比較して高くなっている。

・中央及び北部では「自分たちで立ち上げた活動グループ」の割合がそれぞれ10.5%、13.6%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。（複数回答可）

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げた活動グループ	その他
全体	477	33.1%	49.3%	6.7%	25.6%	9.6%	4.4%	15.9%	8.0%	5.2%
性別										
男性	184	35.9%	52.7%	4.3%	28.3%	11.4%	0.5%	13.6%	9.2%	3.3%
女性	281	30.6%	48.4%	8.5%	23.8%	8.2%	7.1%	18.1%	7.5%	6.8%
年代別										
20歳代	56	33.9%	33.9%	7.1%	50.0%	3.6%	5.4%	19.6%	8.9%	1.8%
30歳代	96	27.1%	46.9%	16.7%	18.8%	2.1%	3.1%	37.5%	9.4%	8.3%
40歳代	66	31.8%	45.5%	16.7%	33.3%	1.5%	3.0%	28.8%	15.2%	7.6%
50歳代	85	41.2%	58.8%	0.0%	30.6%	3.5%	3.5%	4.7%	9.4%	5.9%
60歳代	105	32.4%	60.0%	0.0%	19.0%	13.3%	3.8%	3.8%	3.8%	4.8%
70歳代	50	26.0%	48.0%	2.0%	10.0%	32.0%	10.0%	4.0%	2.0%	2.0%
80歳代	10	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	70.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
職業別										
会社員	164	34.1%	47.6%	7.3%	29.9%	6.7%	3.7%	14.0%	9.1%	7.9%
自営業	46	26.1%	45.7%	2.2%	23.9%	2.2%	2.2%	10.9%	8.7%	2.2%
農林漁業	5	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
公務員	30	43.3%	53.3%	20.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	3.3%	3.3%
学生	16	31.3%	31.3%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%
無職	139	33.8%	54.0%	2.9%	17.3%	19.4%	5.8%	14.4%	5.8%	3.6%
その他	65	29.2%	55.4%	13.8%	20.0%	6.2%	7.7%	24.6%	7.7%	6.2%
地区別										
東部	142	38.7%	52.1%	9.9%	23.2%	10.6%	3.5%	17.6%	6.3%	8.5%
西部	48	22.9%	54.2%	8.3%	18.8%	12.5%	8.3%	18.8%	6.3%	2.1%
中央	124	31.5%	41.1%	3.2%	31.5%	7.3%	4.0%	12.1%	10.5%	5.6%
南部	70	32.9%	57.1%	10.0%	18.6%	12.9%	2.9%	18.6%	2.9%	2.9%
北部	81	33.3%	50.6%	3.7%	29.6%	7.4%	6.2%	17.3%	13.6%	3.7%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

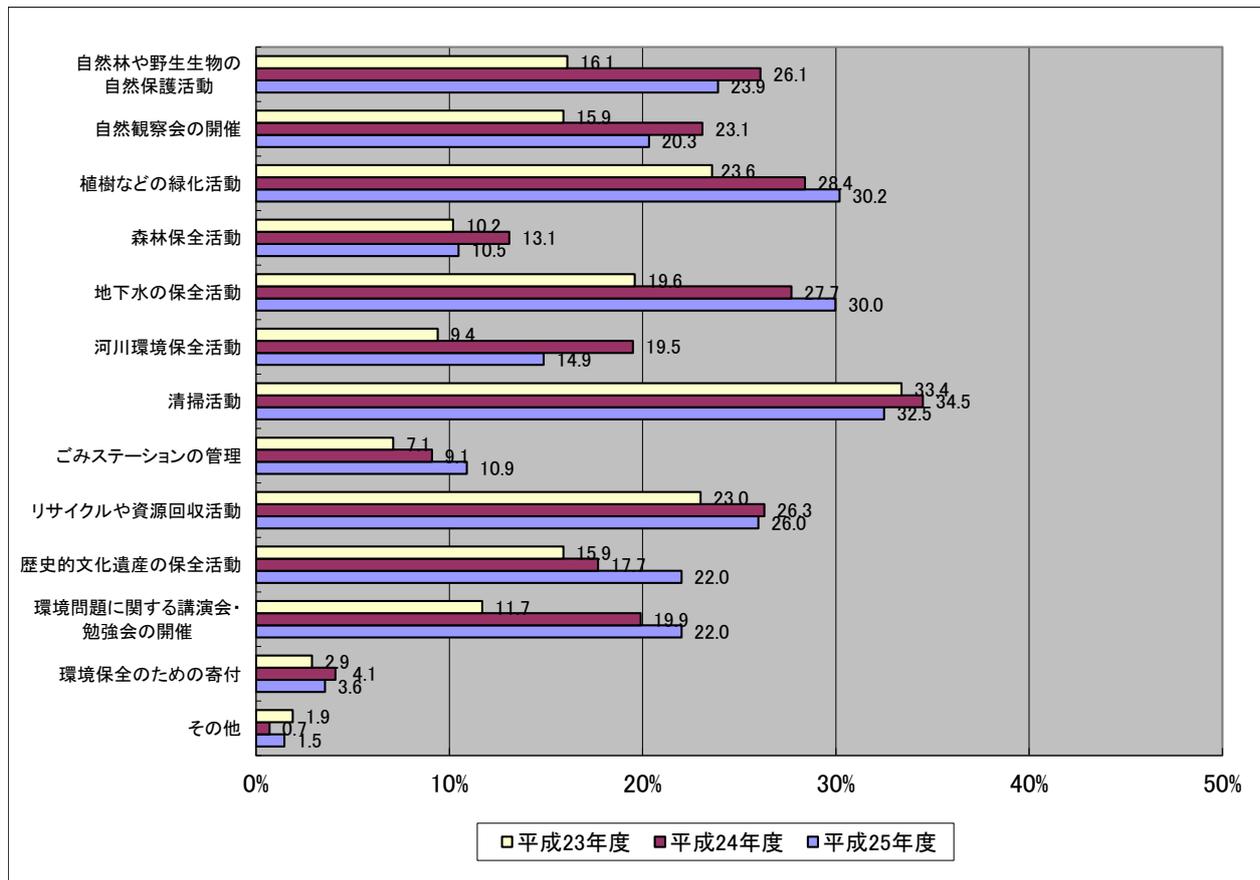
- ・企業、組合など
- ・自然環境を管轄する市の地域組織
- ・市が主催するもの
- ・企業協賛型のもの

問7-4. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

【全体結果】

・「参加したことはないが、今後してみたい」と回答したうち、「清掃活動」の割合が32.5%と最も高く、次いで「植樹などの緑化活動」(30.2%)、「地下水の保全活動」(30.0%)となっている。



【男女別】

・男性では「河川環境保全活動」の割合が20.1%と、女性と比較して8.4%高くなっている。また、「地下水の保全活動」が35.3%と、女性と比較して8.6%高くなっている。
 ・女性では「植樹などの緑化活動」の割合が34.5%と、男性と比較して10.6%高くなっている。

【年代別】

・20歳代では「植樹などの緑化活動」の割合が46.4%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・30歳代では「自然観察会の開催」の割合が33.3%、「地下水の保全活動」の割合が36.5%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・自営業では「自然林や野生生物の自然保護活動」の割合が 28.3%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・公務員では「自然観察会の開催」の割合が 33.3%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・学生では「植樹などの緑化活動」の割合が 43.8%、「歴史的文化遺産の保護活動」の割合が 37.5%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・その他では「清掃活動」の割合が 41.5%、「ごみステーションの管理」の割合が 26.2%、また「リサイクルや資源回収活動」の割合が 40.0%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・東部及び西部では「リサイクルや資源回収活動」の割合がそれぞれ 33.8%、35.4%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・西部では「歴史的文化遺産の保全活動」の割合が 31.3%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・中央では「地下水の保全活動」の割合が 35.5%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。（複数回答可）」

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源	歴史的文化遺産の保全活動	講演会開催・勉強会	環境保全のための	その他
全体	477	23.9%	20.3%	30.2%	10.5%	30.0%	14.9%	32.5%	10.9%	26.0%	22.0%	22.0%	3.6%	1.5%
性別														
男性	184	25.0%	24.5%	23.9%	12.5%	35.3%	20.1%	32.1%	10.9%	25.5%	25.0%	22.8%	3.8%	1.6%
女性	281	23.1%	18.1%	34.5%	9.6%	26.7%	11.7%	34.2%	11.0%	25.6%	21.0%	21.4%	3.6%	1.4%
年代別														
20歳代	56	23.2%	12.5%	46.4%	8.9%	28.6%	12.5%	28.6%	5.4%	25.0%	32.1%	23.2%	3.6%	1.8%
30歳代	96	31.3%	33.3%	39.6%	11.5%	36.5%	17.7%	38.5%	3.1%	26.0%	21.9%	16.7%	2.1%	2.1%
40歳代	66	30.3%	15.2%	39.4%	13.6%	31.8%	21.2%	33.3%	18.2%	24.2%	27.3%	21.2%	4.5%	3.0%
50歳代	85	27.1%	21.2%	18.8%	11.8%	29.4%	15.3%	31.8%	12.9%	22.4%	28.2%	28.2%	3.5%	2.4%
60歳代	105	15.2%	20.0%	27.6%	13.3%	31.4%	14.3%	34.3%	14.3%	29.5%	18.1%	18.1%	3.8%	0.0%
70歳代	50	14.0%	14.0%	12.0%	0.0%	16.0%	10.0%	26.0%	12.0%	24.0%	6.0%	26.0%	6.0%	0.0%
80歳代	10	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
職業別														
会社員	164	25.0%	20.7%	34.1%	12.8%	34.1%	20.1%	31.7%	8.5%	23.8%	27.4%	17.7%	4.3%	2.4%
自営業	46	28.3%	17.4%	23.9%	13.0%	28.3%	15.2%	30.4%	0.0%	15.2%	23.9%	30.4%	6.5%	0.0%
農林漁業	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
公務員	30	23.3%	33.3%	26.7%	13.3%	36.7%	10.0%	33.3%	10.0%	20.0%	20.0%	13.3%	3.3%	0.0%
学生	16	18.8%	25.0%	43.8%	12.5%	37.5%	18.8%	31.3%	6.3%	25.0%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0%
無職	139	22.3%	18.7%	27.3%	7.9%	26.6%	10.1%	32.4%	12.2%	26.6%	13.7%	27.3%	3.6%	0.7%
その他	65	23.1%	21.5%	30.8%	7.7%	21.5%	13.8%	41.5%	26.2%	40.0%	24.6%	16.9%	1.5%	3.1%
地区別														
東部	142	21.1%	15.5%	33.8%	9.9%	28.9%	16.2%	35.9%	11.3%	33.8%	21.1%	23.2%	3.5%	2.1%
西部	48	27.1%	16.7%	25.0%	8.3%	29.2%	8.3%	27.1%	12.5%	35.4%	31.3%	20.8%	2.1%	0.0%
中央	124	25.8%	25.8%	34.7%	12.1%	35.5%	18.5%	34.7%	5.6%	15.3%	25.8%	23.4%	6.5%	0.8%
南部	70	14.3%	21.4%	30.0%	10.0%	30.0%	12.9%	37.1%	11.4%	18.6%	17.1%	14.3%	0.0%	1.4%
北部	81	30.9%	23.5%	21.0%	11.1%	23.5%	13.6%	24.7%	17.3%	29.6%	18.5%	25.9%	3.7%	2.5%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

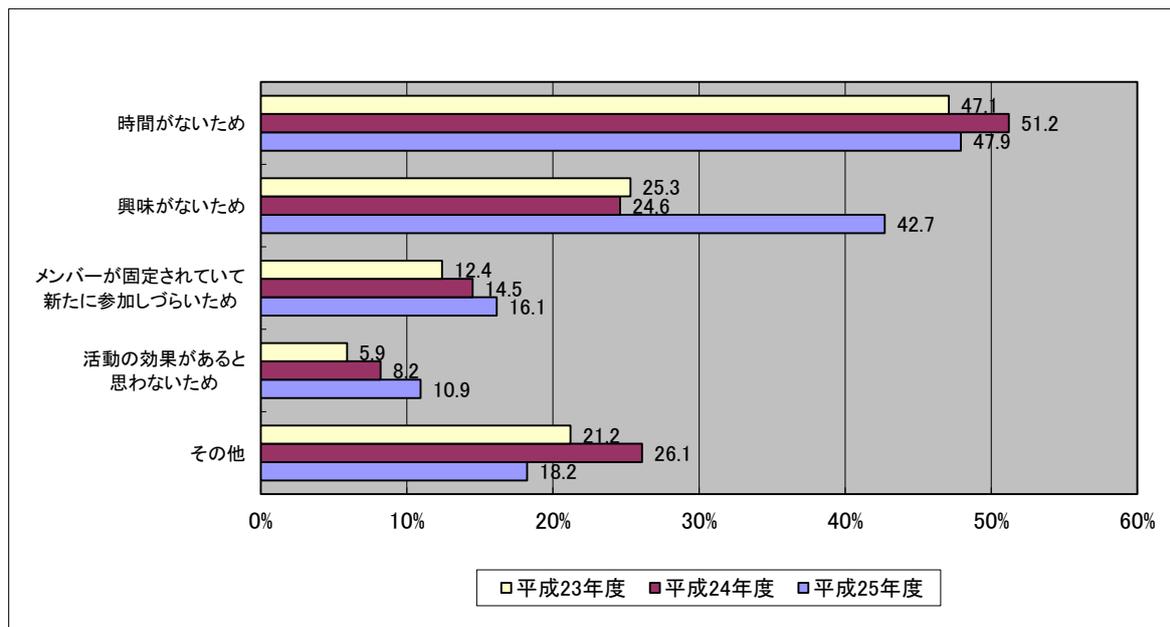
- ・災害にどう対処したらよいかの情報を得るための活動
- ・阿蘇山や俵山等の美化活動
- ・江津湖の水草の撤去
- ・地下水の枯渇を防ぐための活動

問7-5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答したうち、「時間がないため」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「興味がないため」(42.7%)、「その他」(18.2%)となっている。
- ・「興味がないため」の割合は、前回調査より大幅に増加し、今回調査では2位に上がっている。



【男女別】

- ・男性では「時間がないため」の割合が 51.9%と、女性と比較して 6.0%高くなっている。また「活動の効果があると思わないため」の割合が 14.3%と、女性と比較して 6.0%高くなっている。
- ・女性では「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」の割合が 20.2%と、男性と比較して 9.8%高くなっている。

【年代別】

- ・20 歳代では「時間がないため」の割合が 74.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・30 歳代では「興味がないため」の割合が 62.1%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・20 歳代から 50 歳代までの世代では「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」の割合が、60 歳代以上の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・公務員では「時間がないため」の割合が 75.0%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・会社員及びその他の職業では「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」がそれぞれ 29.4%、23.1%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・東部では中央では「時間がないため」の割合がそれぞれ 59.4%、55.3%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・西部では「興味がないため」の割合が 52.4%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)」

	合計	時間がないため	興味がないため	メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため	活動の効果があると思わないため	その他
全体	192	47.9%	42.7%	16.1%	10.9%	18.2%
性別						
男性	77	51.9%	45.5%	10.4%	14.3%	15.6%
女性	109	45.9%	42.2%	20.2%	8.3%	20.2%
年代別						
20歳代	31	74.2%	48.4%	25.8%	9.7%	6.5%
30歳代	29	41.4%	62.1%	27.6%	17.2%	6.9%
40歳代	35	62.9%	51.4%	17.1%	14.3%	8.6%
50歳代	14	57.1%	57.1%	21.4%	7.1%	7.1%
60歳代	33	45.5%	36.4%	6.1%	9.1%	24.2%
70歳代	24	33.3%	25.0%	8.3%	12.5%	33.3%
80歳代	20	10.0%	20.0%	5.0%	0.0%	50.0%
職業別						
会社員	51	60.8%	54.9%	29.4%	15.7%	3.9%
自営業	19	57.9%	26.3%	5.3%	10.5%	10.5%
農林漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	12	75.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%
学生	7	57.1%	85.7%	14.3%	14.3%	0.0%
無職	69	26.1%	37.7%	8.7%	10.1%	37.7%
その他	26	61.5%	42.3%	23.1%	7.7%	11.5%
地区別						
東部	69	59.4%	42.0%	18.8%	10.1%	15.9%
西部	21	19.0%	52.4%	14.3%	0.0%	23.8%
中央	38	55.3%	39.5%	10.5%	15.8%	23.7%
南部	29	37.9%	44.8%	20.7%	6.9%	13.8%
北部	28	42.9%	46.4%	14.3%	17.9%	17.9%

◆ 参考 ◆

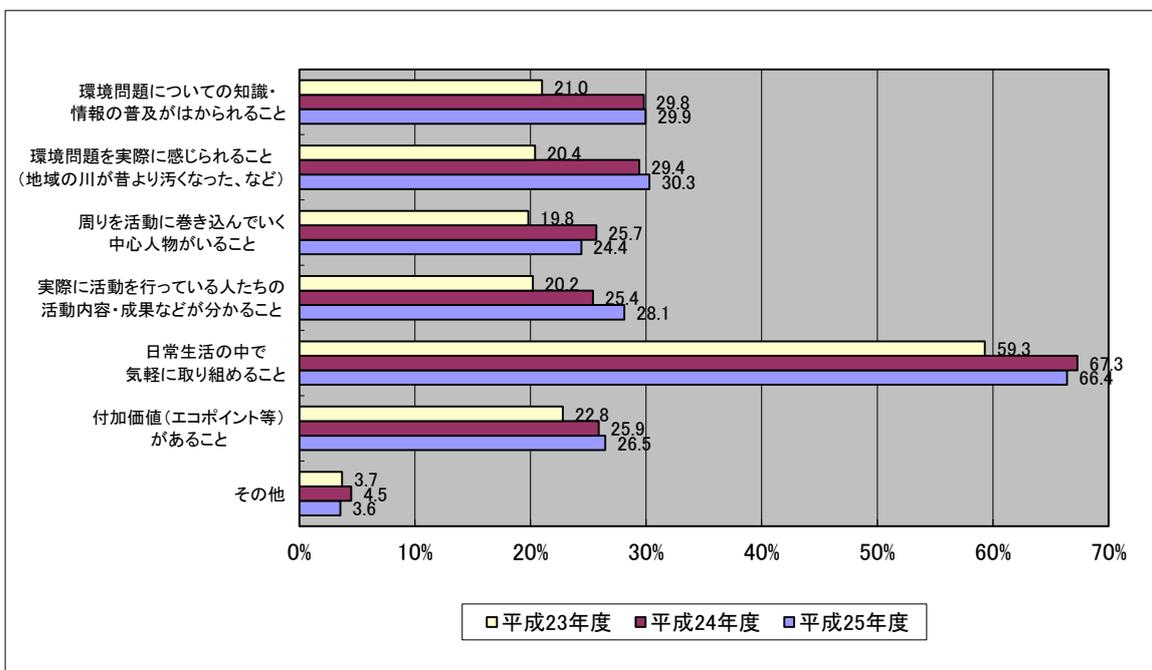
○その他の内容

- ・体が不自由で、病気のため
- ・自分で出版物やメディアを通して勉強するため
- ・自分の利益にならないから
- ・時間に縛られたくない。個人の意識を高めたいため
- ・高齢のため
- ・広報がなく、どういう団体が活動しているかわからないため
- ・小さい子がおり余裕がないため
- ・車がないため
- ・活動内容を知らないため
- ・あまり人と関わるのが得意ではないため

問8. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

・「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること」(30.3%)、「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」(29.9%)となっている。



【男女別】

・女性では「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が 71.3%と、男性と比較して 11.4%高くなっている。また「付加価値があること」の割合が 30.5%と、男性と比較して 8.7%高くなっている。

【年代別】

・20 歳代及び 30 歳代では「環境問題を実際に感じられること」の割合がそれぞれ 37.5%、36.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・50 歳代では「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」の割合が 38.1%、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」の割合が 34.5%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、年代が若いほど高くなっている。

【職業別】

・農林漁業では「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」の割合が 58.8%と、他の職業と比較して高くなっている。
 ・公務員では「付加価値(エコポイント等)があること」の割合が 43.2%と、他の職業

と比較して高くなっている。

・会社員及びその他の職業では「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合がそれぞれ 72.1%、76.7%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとして環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)」

	合計	環境が 及知境 は識問 か・題 ら情に れ報つ るのい こ普て	どり(感 汚地じ く域ら なのれ つ川を たがこ 、昔と なよに	物込周 がんに いでを るい活 こと中 心巻 人き	が動て実 分内い か容る る・人 こ成た と果ち なを行 ど活つ	と軽日 に常 取生 り活 組の め中 るで こ気	こイ付 とン加 ト価 等値)(がエ あコ るポ	その他
全体	1,152	29.9%	30.3%	24.4%	28.1%	66.4%	26.5%	3.6%
性別								
男性	431	33.2%	29.0%	21.1%	28.8%	59.9%	21.8%	4.9%
女性	676	28.7%	31.5%	26.9%	28.6%	71.3%	30.5%	2.8%
年代別								
20歳代	96	28.1%	37.5%	21.9%	26.0%	61.5%	51.0%	4.2%
30歳代	161	20.5%	36.0%	20.5%	26.7%	73.3%	42.2%	6.2%
40歳代	191	23.0%	30.4%	22.5%	27.7%	71.7%	40.3%	3.7%
50歳代	197	38.1%	31.0%	25.4%	34.5%	69.0%	24.9%	4.1%
60歳代	243	35.8%	32.9%	27.6%	30.0%	67.1%	17.3%	2.5%
70歳代	155	34.2%	18.7%	24.5%	27.1%	63.2%	8.4%	1.9%
80歳代	71	29.6%	25.4%	31.0%	22.5%	46.5%	4.2%	2.8%
職業別								
会社員	308	28.6%	36.7%	18.5%	25.3%	72.1%	35.7%	3.9%
自営業	102	31.4%	21.6%	20.6%	35.3%	57.8%	19.6%	2.0%
農林漁業	17	58.8%	23.5%	29.4%	47.1%	41.2%	5.9%	0.0%
公務員	81	30.9%	34.6%	22.2%	19.8%	63.0%	43.2%	6.2%
学生	24	20.8%	37.5%	33.3%	37.5%	58.3%	25.0%	0.0%
無職	402	32.8%	26.9%	29.6%	28.4%	63.4%	17.7%	3.5%
その他	172	27.3%	31.4%	24.4%	32.6%	76.7%	32.6%	4.1%
地区別								
東部	364	34.9%	31.0%	25.0%	31.3%	69.8%	29.1%	3.6%
西部	114	24.6%	37.7%	28.1%	26.3%	57.9%	22.8%	5.3%
中央	231	28.6%	29.9%	27.3%	27.3%	62.8%	29.0%	4.8%
南部	190	23.2%	25.3%	18.4%	28.9%	69.5%	25.8%	4.2%
北部	209	35.4%	31.1%	23.9%	26.3%	67.9%	24.4%	1.4%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

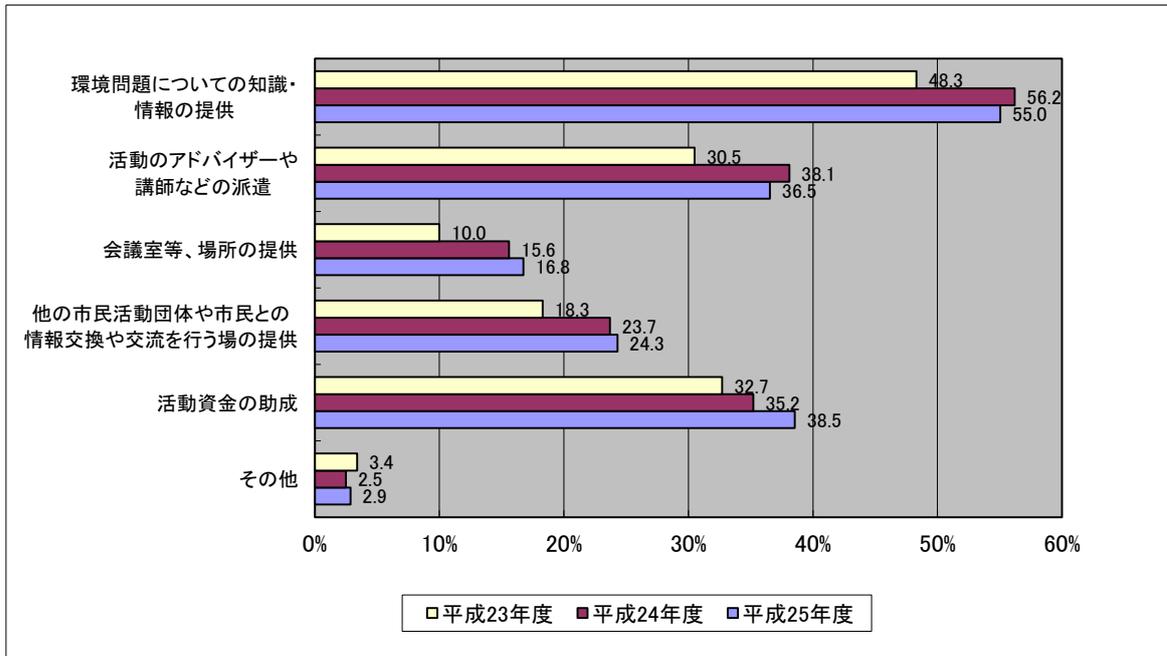
- ・モラルの高揚
- ・公報などによる強いアピール、メッセージ
- ・報道機関への情報提供と協力要請の強化

- ・企業参加型。参加している企業への電力、ゴミ処理などの優遇
- ・行政側の積極的な働きかけ
- ・学校での教育や、身近な場で情報を得ることができるようになること
- ・地区内に常に情報を知らせてくれる人
- ・熊本市が最終ゴール又は目標を示すこと。どのような美しい市にしていくなど
- ・自治会などある程度の強制
- ・TV、新聞など告知
- ・手ぶらでも参加できる、JTの「拾えば街が好きになる運動」のような気軽に参加できるシステム
- ・付加価値もいいが、活動の成果が自分達に返ってくること。自分達の健康や子ども達の未来に返ってくるという意識の向上
- ・無料の送迎バスやシャトルバスを運行する
- ・防災や食育との関連イベント
- ・人の心を動かす環境 CM 作り

問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「活動資金の助成」(38.5%)、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」(36.5%)となっている。
- ・「活動資金の助成」の割合は、前回調査では3位だったが、今回調査では2位に上がっている。



【男女別】

- ・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

- ・20 歳代及び 30 歳代では「会議室等、場所の提供」がそれぞれ 24.0%、28.0%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・50 歳代及び 60 歳代では「環境問題についての知識・情報の提供」の割合がそれぞれ 64.5%、60.5%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・50 歳代では「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」の割合が 34.5%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・公務員及び学生では「会議室等、場所の提供」の割合が 27.2%、29.2%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・農林漁業では「環境問題についての知識・情報の提供」が 64.7%と、他の職業と比較して高くなっている。

・学生では「活動のアドバイザーや講師などの派遣」の割合が 50.0%と、他の職業と比較して高くなっている。また「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」が 33.3%と、他の職業と比較して高くなっている。

・公務員では「活動資金の助成」の割合が 58.0%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)」

	合計	環境問題に関する情報提供	活動やアドバイザーの派遣	会議室等、場所の提供	他の市民活動団体との情報交換	活動資金の助成	その他
全体	1,152	55.0%	36.5%	16.8%	24.3%	38.5%	2.9%
性別							
男性	431	55.5%	36.2%	16.7%	26.0%	41.5%	3.9%
女性	676	56.1%	37.6%	17.5%	23.8%	37.0%	2.4%
年代別							
20歳代	96	50.0%	39.6%	24.0%	27.1%	47.9%	2.1%
30歳代	161	49.7%	37.3%	28.0%	28.6%	45.3%	5.6%
40歳代	191	53.4%	38.2%	19.9%	24.1%	42.9%	3.1%
50歳代	197	64.5%	42.6%	17.8%	34.5%	43.7%	2.5%
60歳代	243	60.5%	37.4%	12.8%	19.8%	35.0%	2.5%
70歳代	155	52.3%	29.7%	7.7%	20.6%	29.0%	3.2%
80歳代	71	52.1%	28.2%	11.3%	11.3%	21.1%	0.0%
職業別							
会社員	308	56.8%	38.0%	18.2%	27.9%	45.8%	3.2%
自営業	102	58.8%	27.5%	12.7%	23.5%	35.3%	3.9%
農林漁業	17	64.7%	41.2%	17.6%	17.6%	23.5%	5.9%
公務員	81	49.4%	37.0%	27.2%	25.9%	58.0%	4.9%
学生	24	50.0%	50.0%	29.2%	33.3%	33.3%	0.0%
無職	402	54.5%	36.8%	14.2%	23.1%	32.3%	2.2%
その他	172	58.7%	39.5%	19.8%	22.1%	37.2%	2.9%
地区別							
東部	364	59.6%	39.8%	17.9%	24.5%	39.6%	1.9%
西部	114	53.5%	35.1%	12.3%	22.8%	34.2%	1.8%
中央	231	51.9%	34.6%	20.8%	28.1%	40.7%	5.6%
南部	190	54.7%	31.6%	14.7%	24.7%	37.9%	2.6%
北部	209	56.5%	39.7%	17.7%	21.1%	39.7%	2.9%

◆ 参考 ◆

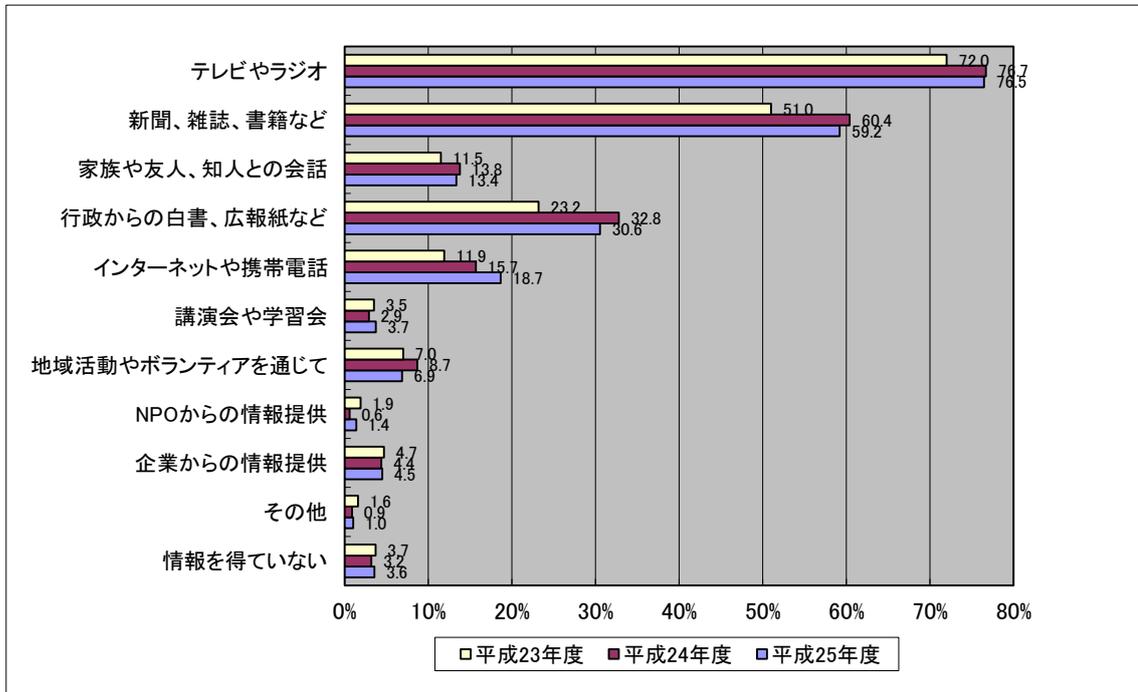
○その他の内容

- ・各種税金等の減免
- ・国等の補助金の紹介、申請サポート
- ・道具の常設と貸し出し
- ・市民活動団体が継続的に活動出来るように有償ボランティア、コミュニティビジネスとしての活動を受け入れる支援が必要
- ・燃料代等
- ・広報活動の支援
- ・草刈機等の援助

問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

【全体結果】

・「テレビやラジオ」の割合が 76.5%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」(59.2%)、「行政からの白書、広報紙など」(30.6%)となっている。



【男女別】

・女性では「家族や友人、知人との会話」の割合が 16.9%と、男性と比較して 8.5%高くなっている。また、「行政からの白書、広報紙など」の割合が 35.2%と、男性と比較して 10.1%高くなっている。

【年代別】

・「インターネットや携帯電話」の割合が 20 歳代では 39.6%、30 歳代では 32.3%と、他の年代と比較して高くなっている。
 ・50 歳代では「新聞、雑誌、書籍など」の割合が 71.1%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

・学生では「インターネットや携帯電話」の割合が 45.8%と、他の職業と比較して高くなっている。
 ・公務員及び学生では「新聞、雑誌、書籍など」の割合がそれぞれ 71.6%、75.0%と、他の職業と比較して高くなっている。
 ・農林漁業では「地域活動やボランティアを通じて」の割合が 23.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・中央では「インターネットや携帯電話」の割合が 24.2%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・北部では「テレビやラジオ」の割合が 83.7%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)」

	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	家族や友人、知人との会話	紙行政からの白書、広報など	インターネットや携帯電話	講演会や学習会	地域活動やボランティアを通じて	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,152	76.5%	59.2%	13.4%	30.6%	18.7%	3.7%	6.9%	1.4%	4.5%	1.0%	3.6%
性別												
男性	431	76.6%	61.7%	8.4%	25.1%	19.0%	3.5%	6.7%	1.4%	6.0%	1.6%	5.1%
女性	676	77.2%	59.0%	16.9%	35.2%	19.1%	3.8%	6.7%	1.3%	3.7%	0.7%	2.8%
年代別												
20歳代	96	84.4%	56.3%	18.8%	13.5%	39.6%	2.1%	2.1%	0.0%	1.0%	2.1%	6.3%
30歳代	161	80.1%	52.8%	17.4%	26.7%	32.3%	1.2%	4.3%	1.2%	5.0%	0.6%	3.7%
40歳代	191	76.4%	59.7%	11.5%	34.0%	26.7%	3.1%	7.9%	2.1%	7.3%	1.6%	3.1%
50歳代	197	81.7%	71.1%	7.1%	35.0%	21.3%	4.1%	6.1%	2.0%	4.6%	1.5%	1.5%
60歳代	243	74.5%	60.9%	15.2%	32.5%	9.1%	6.6%	8.2%	1.2%	5.3%	0.8%	3.3%
70歳代	155	70.3%	58.1%	14.2%	34.2%	3.2%	3.2%	9.7%	1.3%	2.6%	0.6%	5.8%
80歳代	71	69.0%	50.7%	15.5%	35.2%	1.4%	2.8%	5.6%	1.4%	2.8%	0.0%	4.2%
職業別												
会社員	308	79.9%	53.2%	11.7%	23.7%	25.3%	1.3%	5.5%	0.6%	6.8%	0.6%	3.6%
自営業	102	68.6%	55.9%	13.7%	22.5%	15.7%	4.9%	10.8%	3.9%	6.9%	2.0%	5.9%
農林漁業	17	70.6%	41.2%	17.6%	23.5%	5.9%	11.8%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
公務員	81	82.7%	71.6%	6.2%	32.1%	27.2%	6.2%	3.7%	3.7%	3.7%	2.5%	3.7%
学生	24	75.0%	75.0%	20.8%	16.7%	45.8%	12.5%	4.2%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%
無職	402	74.4%	61.2%	15.7%	36.3%	12.4%	4.7%	7.7%	1.5%	2.7%	0.7%	3.7%
その他	172	82.0%	65.7%	15.1%	39.5%	19.2%	1.7%	4.7%	0.0%	4.1%	0.6%	1.7%
地区別												
東部	364	78.0%	61.0%	12.1%	30.2%	18.4%	4.1%	6.0%	1.6%	5.2%	1.1%	4.1%
西部	114	71.9%	53.5%	10.5%	28.1%	15.8%	2.6%	9.6%	2.6%	6.1%	0.0%	4.4%
中央	231	72.3%	60.6%	13.0%	31.6%	24.2%	5.2%	6.1%	2.2%	3.9%	0.9%	5.6%
南部	190	77.4%	57.4%	17.9%	35.3%	17.4%	2.1%	8.9%	1.1%	5.3%	0.5%	2.1%
北部	209	83.7%	63.2%	14.4%	30.6%	17.7%	2.9%	5.3%	0.0%	2.4%	2.4%	1.9%

◆ 参考 ◆

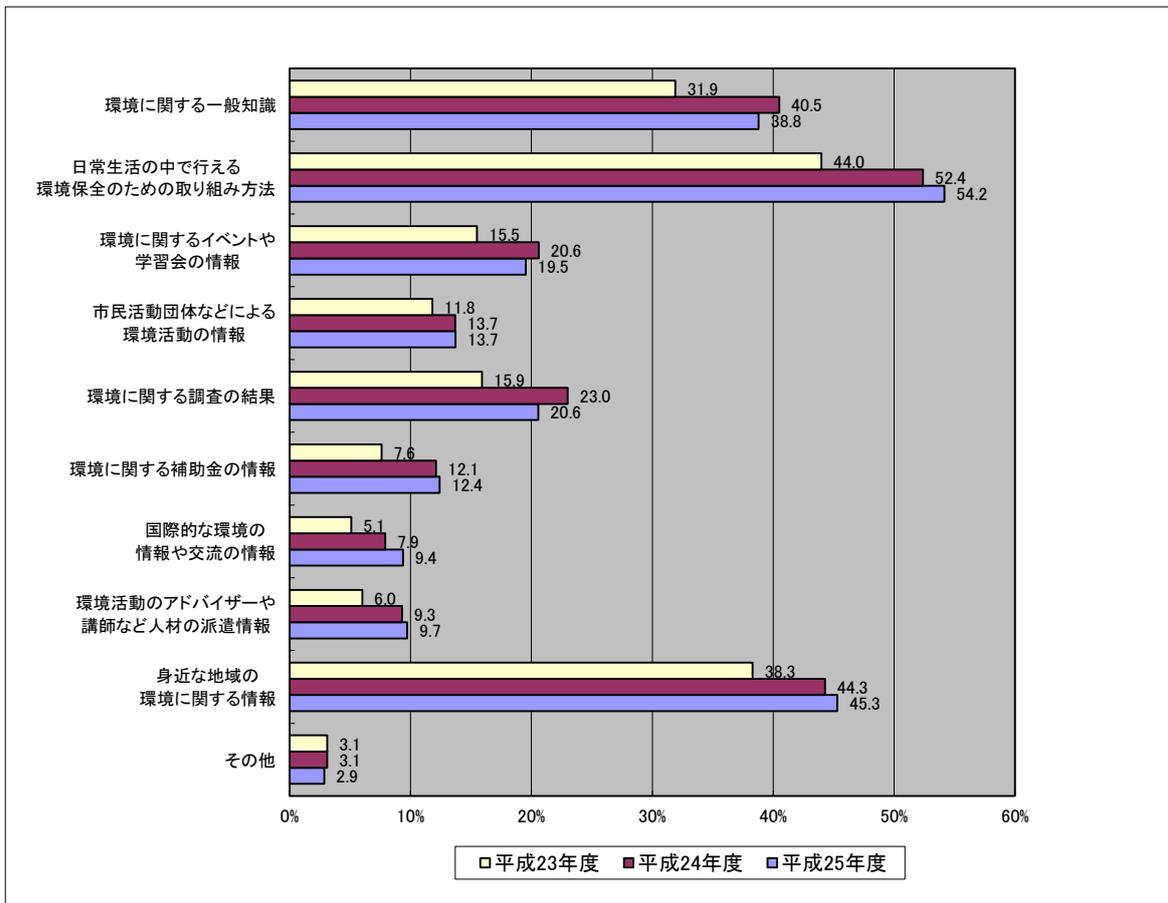
○その他の内容

- ・実際に見て、感じる
- ・大学の講義
- ・これまでの学校教育全般
- ・回覧版
- ・職場の情報
- ・環境教育全般

問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

【全体結果】

- ・「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」(45.3%)、「環境に関する一般知識」(38.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位に変化は見られない。



【男女別】

- ・男性では「環境に関する補助金の情報」の割合が 16.2%と、女性と比較して 6.3%高くなっている。
- ・女性では「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合が 57.1%と、男性と比較して 6.5%高くなっている。

【年代別】

- ・20 歳代では「環境に関する一般知識」の割合が 49.0%と、他の年代と比較して高くなっている。また「環境に関するイベントや学習会の情報」の割合が 30.2%と、他の年代と比較して高くなっている。
- ・50 歳代では「環境に関する調査の結果」の割合が 28.9%と、他の年代と比較して高くなっている。

【職業別】

- ・会社員及びその他の職業では「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合がそれぞれ 62.7%、58.7%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・公務員では「環境に関する補助金の情報」の割合が 18.5%と、他の職業と比較して高くなっている。
- ・学生では「環境に関する一般知識」の割合が 54.2%、「環境に関するイベントや学習会の情報」が 50.0%、「環境に関する調査の結果」の割合が 37.5%と、他の職業と比較して高くなっている。

【地区別】

- ・中央では「国際的な環境の情報や交流の情報」の割合が 15.6%と、他の地区と比較して高くなっている。
- ・北部では「市民活動団体などによる環境活動の情報」の割合が 20.1%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)」

	合計	環境に関する一般知識	日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法	環境に関するイベントや学習会の情報	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する調査の結果	環境に関する補助金の情報	国際的な環境の情報や交流の情報	派遣や講師など人材の環境活動の情報	身近な地域の環境に関する情報	その他
全体	1,152	38.8%	54.2%	19.5%	13.7%	20.6%	12.4%	9.4%	9.7%	45.3%	2.9%
性別											
男性	431	36.2%	50.6%	19.7%	15.1%	22.5%	16.2%	9.5%	10.7%	45.7%	3.7%
女性	676	41.4%	57.1%	19.7%	13.6%	19.4%	9.9%	9.8%	9.5%	46.4%	2.4%
年代別											
20歳代	96	49.0%	52.1%	30.2%	13.5%	24.0%	13.5%	15.6%	7.3%	34.4%	3.1%
30歳代	161	41.6%	60.9%	21.1%	8.7%	16.8%	13.0%	10.6%	9.9%	42.9%	3.7%
40歳代	191	42.4%	55.5%	17.8%	14.7%	22.5%	16.8%	9.9%	9.9%	44.5%	4.7%
50歳代	197	39.1%	57.4%	22.8%	14.2%	28.9%	10.2%	12.7%	13.7%	51.3%	3.6%
60歳代	243	37.0%	59.3%	16.5%	16.5%	18.9%	11.5%	6.2%	11.1%	50.6%	1.2%
70歳代	155	32.3%	49.7%	20.0%	14.8%	12.3%	11.6%	7.7%	5.2%	43.9%	2.6%
80歳代	71	35.2%	28.2%	8.5%	15.5%	21.1%	8.5%	7.0%	8.5%	47.9%	0.0%
職業別											
会社員	308	39.3%	62.7%	20.5%	12.0%	21.1%	14.3%	9.7%	9.1%	44.8%	3.2%
自営業	102	37.3%	47.1%	10.8%	13.7%	19.6%	9.8%	12.7%	12.7%	44.1%	2.9%
農林漁業	17	23.5%	47.1%	29.4%	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	17.6%	47.1%	5.9%
公務員	81	30.9%	50.6%	22.2%	14.8%	24.7%	18.5%	16.0%	7.4%	40.7%	6.2%
学生	24	54.2%	37.5%	50.0%	8.3%	37.5%	4.2%	20.8%	8.3%	25.0%	4.2%
無職	402	37.8%	51.0%	19.7%	15.4%	19.9%	10.9%	7.7%	9.0%	49.0%	1.5%
その他	172	47.7%	58.7%	18.0%	14.5%	19.8%	11.6%	8.7%	12.8%	48.8%	3.5%
地区別											
東部	364	41.5%	54.9%	19.2%	12.6%	20.6%	13.2%	7.7%	8.5%	49.2%	1.9%
西部	114	33.3%	50.9%	17.5%	12.3%	15.8%	13.2%	9.6%	11.4%	41.2%	4.4%
中央	231	38.5%	50.6%	20.8%	13.9%	22.9%	12.1%	15.6%	11.7%	46.8%	4.3%
南部	190	36.8%	58.4%	14.7%	11.1%	19.5%	7.4%	7.4%	5.8%	47.4%	3.7%
北部	209	41.6%	56.0%	25.4%	20.1%	21.1%	15.3%	9.1%	12.9%	40.7%	1.9%

◆ 参考 ◆

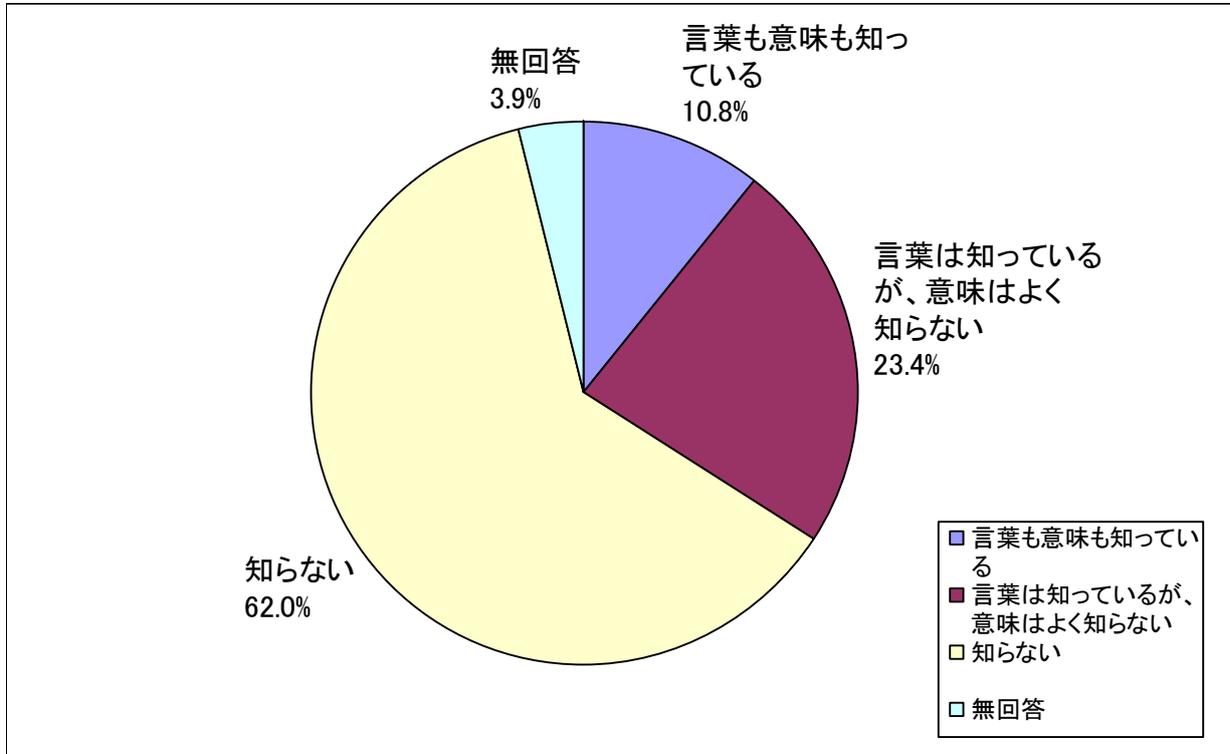
○その他の内容

- ・住んでいる所と他地域を比較したもの。現在と過去を比較したもの。(例えば気温や水質、水量、空気中の化学物質など)
- ・気候(環境)変動の時系列のデータ(比較的可能な時点から)
- ・市政におけるチームリーダーの育成
- ・イベント参加への公休理解
- ・熊本市の環境に影響するような周囲からの情報も広く収集して欲しい。(大気環境など)
- ・地域イベントやスポーツ・音楽等開催される場所での PR 活動
- ・電気自動車の充電設備所在地や既存マンションへの普通充電設備等導入のためのアドバイス
- ・一時的ではない、繰り返しの情報
- ・会社等でも気軽に出来るように無料の回収制度
- ・自治会のウェイトが時代に合った参加型にすること

問12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1つだけ)

【全体結果】

・「知らない」の割合 62.0%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が 23.4%、「言葉も意味も知っている」が 10.8%となっている。



【男女別】

・「言葉も意味も知っている」の割合は、男性が 17.9%、女性が 6.7 と、男性のほうが 11.2%高くなっている。

【年代別】

・「言葉も意味も知っている」の割合は、20 代が 12.5%と最も高く、次いで 60 歳代 (11.9%)、70 歳代 (11.6%)となっている。

【職業別】

・「言葉も意味も知っている」の割合は、公務員が 22.2%と最も高く、次いで農林漁業 (17.6%)、自営業 (12.7%)となっている。

【地区別】

・「言葉も意味も知っている」の割合は中央が 14.3%と最も高く、次いで南部 (12.1%)、東部 (11.0%)となっている。

■回答者別の属性に見た「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1 つだけ)

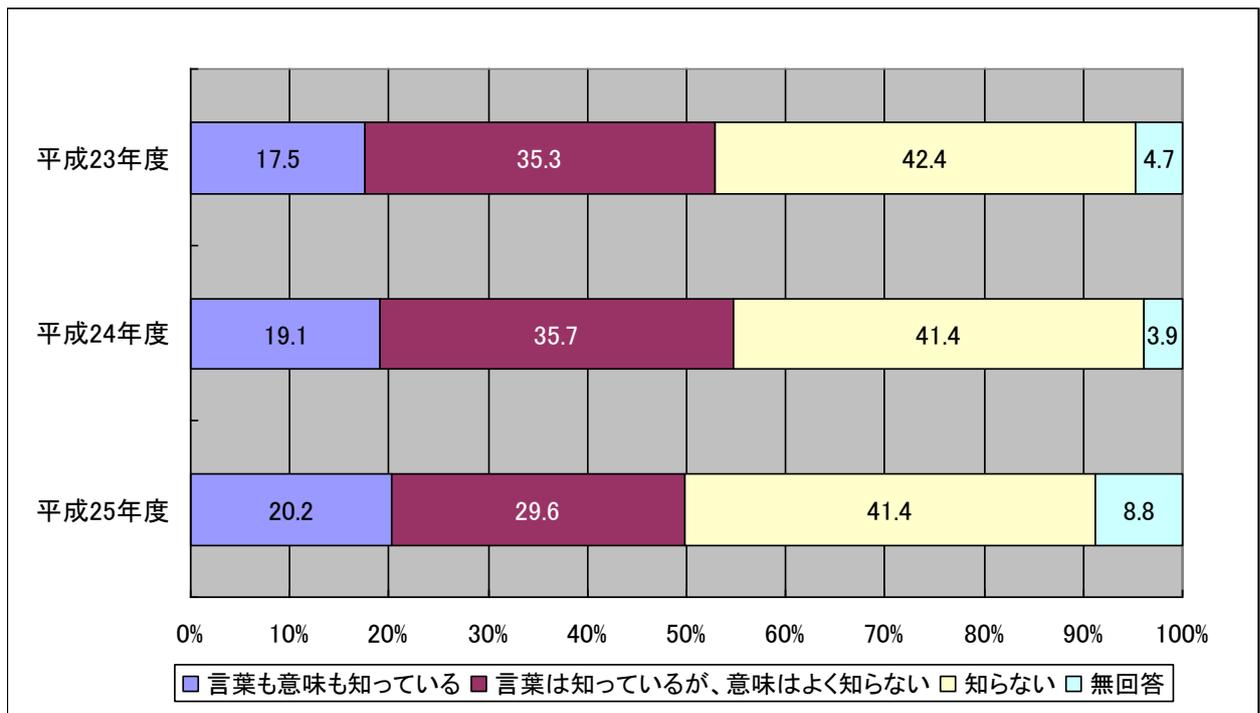
	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,152	10.8%	23.4%	62.0%	3.9%
性別					
男性	431	17.9%	26.7%	53.1%	2.3%
女性	676	6.7%	21.4%	69.1%	2.8%
年代別					
20歳代	96	12.5%	11.5%	75.0%	1.0%
30歳代	161	10.6%	21.7%	67.7%	0.0%
40歳代	191	9.9%	28.3%	61.8%	0.0%
50歳代	197	10.7%	26.4%	61.9%	1.0%
60歳代	243	11.9%	22.6%	62.1%	3.3%
70歳代	155	11.6%	23.9%	58.7%	5.8%
80歳代	71	8.5%	26.8%	50.7%	14.1%
職業別					
会社員	308	8.8%	25.0%	66.2%	0.0%
自営業	102	12.7%	22.5%	63.7%	1.0%
農林漁業	17	17.6%	11.8%	64.7%	5.9%
公務員	81	22.2%	32.1%	45.7%	0.0%
学生	24	8.3%	4.2%	83.3%	4.2%
無職	402	10.7%	23.4%	60.9%	5.0%
その他	172	8.7%	22.1%	66.3%	2.9%
地区別					
東部	364	11.0%	23.9%	62.4%	2.7%
西部	114	6.1%	19.3%	71.1%	3.5%
中央	231	14.3%	25.1%	58.0%	2.6%
南部	190	12.1%	26.3%	60.5%	1.1%
北部	209	9.6%	21.5%	65.6%	3.3%

問13 「生物多様性」について

問13. 「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

【全体結果】

- ・「知らない」の割合が41.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」(29.6%)、「言葉も意味も知っている」(20.2%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」は1.1%上昇している。



【男女別】

- ・「言葉も意味も知っている」の割合は、男性が25.1%、女性が17.8%と、男性のほうが7.3%高くなっている。

【年代別】

- ・「言葉も意味も知っている」の割合は、20歳代が32.3%と最も高く、次いで50歳代(24.9%)、60歳代(23.0%)となっている。
- ・40歳代は「知らない」と回答した割合が49.2%と最も高くなっている。

【職業別】

- ・「言葉も意味も知っている」の割合は、学生が41.7%と最も高く、次いで公務員(32.1%)、農林漁業(29.4%)となっている。

【地区別】

- ・「言葉も意味も知っている」の割合は、中央が25.1%と最も高く、次いで北部(22.0%)、東部(20.9%)となっている。

■回答者の属性別にみた「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

	合計	言葉も意味も知っています	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,152	20.2%	29.6%	41.4%	8.8%
性別					
男性	431	25.1%	29.5%	38.5%	7.0%
女性	676	17.8%	31.4%	44.8%	6.1%
年代別					
20歳代	96	32.3%	33.3%	29.2%	5.2%
30歳代	161	16.8%	32.3%	48.4%	2.5%
40歳代	191	14.1%	32.5%	49.2%	4.2%
50歳代	197	24.9%	28.4%	41.6%	5.1%
60歳代	243	23.0%	29.6%	39.1%	8.2%
70歳代	155	19.4%	28.4%	42.6%	9.7%
80歳代	71	15.5%	31.0%	38.0%	15.5%
職業別					
会社員	308	17.2%	31.2%	47.4%	4.2%
自営業	102	21.6%	30.4%	38.2%	9.8%
農林漁業	17	29.4%	17.6%	41.2%	11.8%
公務員	81	32.1%	32.1%	34.6%	1.2%
学生	24	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%
無職	402	20.4%	28.9%	42.8%	8.0%
その他	172	17.4%	34.3%	41.3%	7.0%
地区別					
東部	364	20.9%	32.1%	40.4%	6.6%
西部	114	18.4%	26.3%	50.0%	5.3%
中央	231	25.1%	30.3%	38.1%	6.5%
南部	190	16.3%	27.4%	51.6%	4.7%
北部	209	22.0%	33.0%	36.8%	8.1%

3. 調査結果総括

(1) ひとづくりプロジェクト

《結果の分析》

① 成果指標について

・「環境について学ぶ機会が増えてきたと感じますか」については、年度ごとに「やや感じる」、「感じる」と回答した割合が減少してきており、学習会やイベント自体が少ないと感じている市民が多くなってきていることが窺える。

② 環境に関する学習会やイベント等への参加について

・この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加した市民の割合は、前回調査と比較すると、0.8%と若干増加した。

・「参加した」と回答したうちの8割以上が、参加したことによって何らかの環境保全活動を実践するようになったと回答しており、前回調査よりもさらに数値が増加し、環境について学ぶ機会の拡充が、環境行動の実践につながることを窺える。

・「参加した」と回答した中では、「自治会・老人会・PTA 等の学習会」が最も多かったが、「学校や職場で行われる勉強会」が前回調査の3位から2位に上昇し、各学校や職場で行われているものにも注目が集まってきている。

・環境に関する学習会やイベントに参加しなかった理由としては、「環境に関する学習会やイベントの開催情報がなかったため」が半数近くを占めており、周知方法等にさらなる工夫が必要と考えられる。

③ 環境に関する学習会やイベント等へのニーズ

・どのような内容の学習会やイベント等に参加したいかについては、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や「身近な地域の環境について学べるもの」など、自らの生活に密着した内容のものが上位を占めている。

・どのような条件が整えば、より学習会やイベント等に参加したいと考えるかについては、「気軽に参加できること」、「無料で参加できること」又は「自分の都合に合わせて、短時間で参加できること」などが上位を占め、時間的、あるいは金銭的な負担をかけずに参加できるものを望まれていることが窺える。

④ 市の取り組みについて

・市民の環境保全意識を高めるために必要な市の取り組みとしては、「学校や社会における環境教育の充実」、「体験学習など自然に触れる機会の提供」又は「環境に関する広報の強化」などが特に多い。このことから、市民は、環境教育の機会や体験学習の場が多くあり、また、それらが広く分かりやすい方法で周知されることを望んでいることが窺える。

《今後の対策》

① 環境について学ぶ機会の拡充

・ライフステージ別環境教育カリキュラムの推進や新規講座の構築等を実施し、様々な年代・性別・ライフステージに応じた環境教育の機会を拡充する。また、市内の小中学校や自治会などを通して、講座の受講の呼びかけを行う。

・2013年の「国連生命の水」最優秀賞の受賞を契機に、より多くの市民が、地下水の流れや地域での水の活用・保全活動を学べるようなイベントを開催し、啓発活動を展開する。

・未来の担い手である子どもたちの自発的な環境保全活動を推進し、子どもを通じた家庭や地域における環境保全活動の広がりを図るため、「エコキッズリーダー」を育成する。

② 市民からのニーズに応える内容の充実

・新しい環境問題に対応出来るように、現在の出前講座や体験学習等の内容を見直し、最新の様々なテーマの環境学習メニューの充実を図る。

・市民からの要望が多い、環境フェアや環境啓発事業などの「体験型」のイベントや学習会を実施し、環境問題に対する関心と環境保全意識の向上を図り、市民が自ら考え行動する力を養成する。さらに、様々な団体のアイデアを盛り込み、啓発効果の高い新しいイベントを企画し、広報活動を充実させる。

③ 周知方法の工夫及び情報発信の充実

・「くまもと低炭素都市づくり」、「熊本市地球温暖化防止活動推進センター」、「くまもとウォーターライフ」などの各種ウェブページの運用や、環境教育ポスターの作成等により、情報を集約・整理すると共に、市民が利用しやすい環境学習拠点を整備することにより、環境に関する情報を効果的に市民に提供し、学習会やイベントへの参加を促進する。また、より市民に分かりやすい環境教育のメニューが提供できるよう、教育機関の意見や環境教育推進会議を通して、情報発信の充実を図る。

(2)まちづくりプロジェクト

《結果の分析》

① 成果指標について

・「環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか」については、前回調査と比較すると数値が減少しているが、「日頃、地域の環境保全活動に参加していますか」については数値が上昇しており、市民の環境保全活動への意識の高さが窺える。

・環境保全活動に参加したことはないが、今後してみたいと回答した割合が全体の半数近くを占めており、今後のまちづくりプロジェクトの推進により、市民の環境保全活動への参加が促進されることが期待される。

② 環境保全活動への参加について

・現在参加している環境保全活動については、「町内会」、「自治会」又は「子ども会」などの団体において、「清掃活動」、「リサイクルや資源回収活動」又は「ごみステーションの管理」などの活動が多く、地域に密着した団体で、日常生活に即した活動をしている市民が多いことが窺える。

③ 環境保全活動へのニーズ

・今後活動に参加してみたい団体については、「町内会」や「自治会」に加えて、「NPO」も上位に挙げられている。

・今後参加してみたい活動の内容については、「現在参加している活動」と同じく「清掃活動」が最も多い一方で、「植樹などの緑化活動」や「地下水の保全活動」などの自然保護活動も、それぞれ全体の3割近くを占めている。

・今後も参加したくないと回答した理由としては、「時間がないため」が半数近くを占めているが、今回、「興味がないため」の割合が前回調査より、大幅に増加している。参加したことが無い方に、どのように興味を持ってもらい、環境意識を高めていくかが大きな課題となっている。

・より多くの方が、まちづくりとしての環境保全活動に加わるようになる条件として、「日常生活の中で気軽に取り組めること」が回答の半数以上を占めており、誰でも気軽に取り組める内容が求められていることが窺える。

・地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際に必要な支援としては、「環境問題についての知識・情報の提供」、「活動資金の助成」又は「活動のアドバイザーや講師などの派遣」が上位を占めている。

④ 環境に関する情報について

・普段、環境に関する情報を得る手段としては「テレビやラジオ」や「新聞・雑誌・書籍など」最も身近なメディアが上位を占めている。

・環境に関する情報について今後求めたいもの(不足しているもの)は「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」、「身近な地域の環境に関する情報」又は「環境に関する一般知識」が上位を占めている。

⑤ カーボン・オフセットについて

・「言葉や意味も知らない」の割合が約6割を占めており、「カーボン・オフセット」という言葉は、まだ一般社会に浸透していないことが窺える。

《今後の対策》

① 団体等への支援の充実

・環境問題解決に向けた取り組みとして他団体のモデルとなり、協働のまちづくりにもつながるような環境保全活動に対して補助金を交付し、支援を行うことで、第3次環境総合計画の推進を図る。

・エコキッズリーダーの活動をホームページやエコキッズサミットなどを通して、広く市民に発信するとともに、アドバイスや専門家の派遣、広報などの活動支援を行う。

② 情報発信の充実

・市民の環境意識に関する格差の解消を図るために、利用度が低い環境ポータルサイトの充実及び認知度の向上に努める。

・市民活動団体と協働で市民や事業者に対し、環境保全活動の実践を働きかけるとともに、各主体による情報交換と連携の場を形成し、効果的な環境情報の提供に努める。

③ カーボン・オフセットの普及・啓発

・今回の調査では、まだ認知度が低い「カーボン・オフセット」については、環境フェアや熊本城マラソンなどのイベント時において、市民への告知に力を入れることとし、さらなる普及・啓発活動に努める。

(3)その他

《結果の分析》

生物多様性について

・「言葉も意味も知っている」の割合が、平成 23 年度の調査以降、若干ではあるが増加しており、徐々に一般社会に浸透してきていることが窺える。

《今後の対策》

① 生物多様性の重要性の発信

・環境フェアなどのイベント時において、市民への告知に力を入れ、また、啓発用リーフレットを作成し、広く配布することにより、さらなる普及・啓発活動に努める。

② 生物多様性保全のための対策

・生物多様性を保全し、その恵みの持続可能な利用ができるように、重点的に取り組む地域等を選定した「地域戦略」を策定し、関係各課と連携した自然保護業務を実施し、また、他団体等の情報収集及び連携に努める。

第3次熊本市環境総合計画 重点協働プロジェクトに関する

市民アンケート

■調査ご協力をお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3,000人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※第3次熊本市環境総合計画は、熊本市本庁舎の市政情報プラザ及び環境政策課、又は各区役所、各総合出張所及び出張所でご覧になれます。

又は、市のホームページ (<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>)でもご確認いただけます。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒の宛名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙の2ページ目以降を、同封の返信用封筒にて、11月8日(金)までに投函してください。(切手は不要です。)

■お問い合わせ先

熊本市役所 環境局 環境政策課

電話：096-328-2427

FAX：096-359-9945

電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

担当：嶋村、橋本

ご回答いただく前にお読みください。

熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもとに、様々な年代・性別・ライフステージにおいて、地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことで、さらにはその行動を、家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたくと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできたのは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、方法が分からなかったりなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えのもと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことで、

そこで、これらのプロジェクトを進めていくための参考とさせていただくため、設問1～5では「ひとづくりプロジェクト」について、設問6～11では「まちづくりプロジェクト」に関することについてお伺いさせていただきます。

〈回答方法〉

*設問の答えとして、あなたご自身のこと、またはあなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に丸(O)をつけてください。

*設問番号に枝番がついていないものは、全員がご回答ください。
(例) 問2 この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

*設問番号に枝番がついているものは、条件に該当する方だけご回答ください。
(例) 問2-2 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

次のページより、設問が始まります。

I 回答者ご自身や地域の環境保全活動等についてお聞きます。

問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

問1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（1つだけ）

- 1 参加した
- 2 参加していない

問2-1. 問2で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。
この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可）

- 1 自治会・老人会・PTA等の学習会
- 2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等
- 3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
- 4 学校や職場で行われる勉強会
- 5 環境フェアなどのイベント
- 6 その他（)

問2-2. 問2で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。
参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。（1つだけ）

- 1 ある（実践している内容について、簡単にご記入ください。）
〔 〕
- 2 ない（実践していない理由について特に何かある場合は記入してください。）
〔 〕

問2-3. 問2で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。
参加しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 時間がなかったため
- 2 経済的な負担が増加するため
- 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
- 4 興味がなかったため
- 5 その他（)

問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。（複数回答可）

- 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
- 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
- 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの
- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他（)

問4. どのような条件を整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。（複数回答可）

- 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
- 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
- 3 無料で参加できる
- 4 気軽に参加することができる
- 5 専門的な知識を身につけることができる
- 6 友人や家族と一緒に参加することができる
- 7 その他（)

問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他 ()

問6～12「まちづくりプロジェクト」について

問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ) ※例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

問7-1. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ()

問7-2. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

問7-3. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ()

問7-4. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

問7-5. 問7で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他 ()

問8. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかれること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他 ()

問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ()

問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報紙など
- 5 インターネットや携帯電話
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPOからの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他 ()
- 11 情報を得ていない

問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

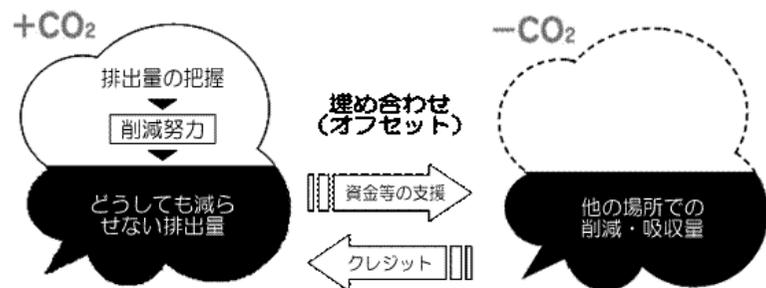
- 1 環境に関する一般知識
- 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
- 3 環境に関するイベントや学習会の情報
- 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
- 5 環境に関する調査の結果
- 6 環境に関する補助金の情報
- 7 国際的な環境の情報や交流の情報
- 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報
- 9 身近な地域の環境に関する情報
- 10 その他 ()

問 12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※カーボン・オフセットとは・・・市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸入量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることを言います。

64



※出典：平成 24 年度カーボンオフセットレポート（平成 25 年 3 月環境省）

問 1 3 「生物多様性」について

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締結会議（COP10）」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きもののつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設問にお答えください。

問 1 3. 「生物多様性」について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

II 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

1 男	2 女
-----	-----

2. 年齢

1 20歳代	2 30歳代
3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代
7 80歳代及びそれ以上	

3. 職業

1 会社員
2 自営業
3 農林漁業
4 公務員
5 学生
6 無職
7 その他 ()

4. お住まいの地区 (回答欄に○をつけてください。)

回答欄	該当地区 (小学校区域)
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内、
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。